

水泳

水

76

日本水上競技聯盟機關雜誌

水 泳

昭和十六年・第七十六號

目 次

壺井宇乃子嬢の死を悼む

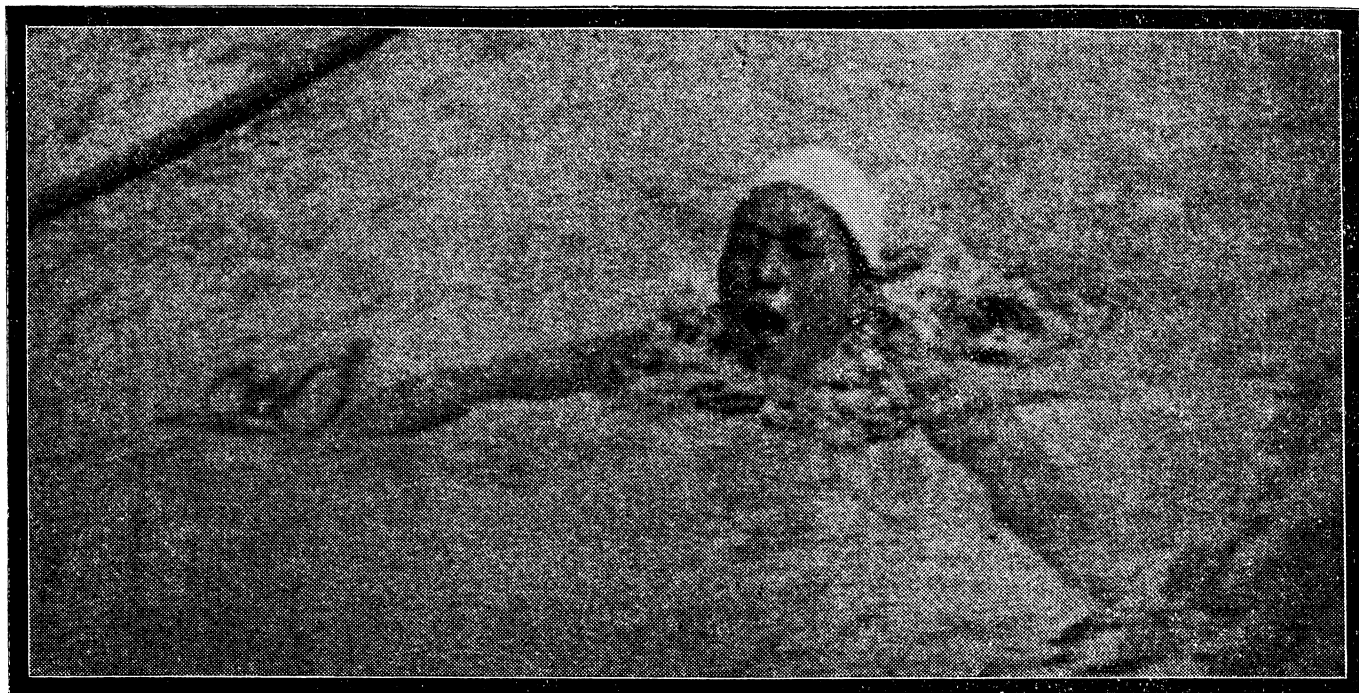
白 山 廣 子	(2)
大 澤 マ サ 代	(3)
兵 藤 秀 子	(4)
菅 谷 初 穂	(5)
松 村 昶 子	(6)
竹 村 令	(6)

第十一回明治神宮國民體育大會

夏季大會水上競技之部	白山源三郎	}.....(7)
奉納日本泳法演技記録	竹村公良	

競泳世界最高記録	(14)
昭和十五度日本新記録	(15)
主要競技會最高記録表	(16)
1940年度男子競泳廿傑表	(18)
日本水泳の實力昇降の周期と平均的力	白山源三郎	(28)
昭和十五年全國小學校兒童水泳競技會	(30)
一年間を顧て 横尾清吾	(31)
聯盟日誌	(32)
聯盟議事録	(32)

壺井宇乃子嬢の死を悼む



噫々今は悲しウーチャンのフォーム

噫壺井宇乃子さん

白山廣子

「壺井さんが亡くなつた」と聞いても未だに夢の様で「宇ちゃん」と呼べば「民族の祭典」にも見るあの天性純真な笑顔がすぐ臉に浮び出で、來て思はず共に誘はれて顔が綻ろびて終ふ程、壺井さん、私共の愛稱「宇ちゃん」は私共に親しみと和ヤラキぎを残して行かれました。

京都に育つた壺井さん、そして武徳會踏水のダムに鍊えた選手、又計らずもオリムピックにお伴して幾月か起き臥しを共にした壺井さんは女學生から女子體專の學生に、そして教育者として立たれるまで其優しく純情な人となりは些かも害ソコナはれる事なく、壺井さん最後の奉職校である上海日本高女に於ても全校の人氣を一身に集め、生徒等からは實姉の如くに慕はれて居られたと聞くさへ誠宇ちゃんの姿だと嬉しく思はれる程でございます。次に同校三年生の山下千鶴子さんのお言葉を拜借致しませう。「あの明朗な、そして元氣な先生が死なれたかと思ふと嘘の様です學校では體操やダンス等を教へて頂いて居ましたが、誰もが皆本當のお姉様の様に親しんで居りました。此間伯林オリムピック映畫民族の祭典を見に

行きました時、休んで居られた先生に久し振りで御目にかゝりお元氣な様子に私等みんな喜んで居たのですが先生があ映畫を感慨深げに見て居られた姿が今でも思ひ出されます」

壺井さんは又年長者に禮篤く先輩としての前畑さんを心から尊敬されて居た事は想像以上で其練習方法等もよく教を請ふて居られました。尙又前畑嬢にあの榮ある優勝を成さしめた蔭に此純情な宇ちゃんの心盡しと助力の効の有つた事は忘れてはならない功績でした。練習の一日プールの端に立つてボンヤリして居られる壺井さんに「早くお入りなさい」と促すと例の些か頓狂な表情で顎を一寸引き目をクリクリツとさせて「前畑さんより先に入つてもよろしいですか」と尋ねられてハツト胸打たれた事もございました。前畑さんが大任を抱いて心碎き、折々考へ込んでは、ベッドに轉がつて何か心配氣に心塞いで居られる時等、ソツト蓄音器をかけて勵ましたり、又同室に有つて、壁面に日章旗を掲げ、お人形やお花を飾つて心を慰める等常に人知れず心盡される様はほんとうに涙ぐましい限りでした。其他ベルリン滞在中にも明朗な失敗談や、エピソード等も幾多残して居られますが他の方より思出として綴られる事でせうから其方へお譲り致しまして此機會に今少し紙數を拜借して同嬢御見舞金の募集についての経過を

記して御援助頂きました皆様への感謝とし合せて御報告に代へさせて頂き度いと存じます、壺井さんは昨年春病を得て京都の實家に歸られ盲腸の手術を受けて入院、其後経過よく再び御家族揚げて上海に渡られ引續き御奉職を望んで居られた由ですがヤハリ無理があつた物か、再び同地福民病院にて手術を受けられて去る九月上旬退院されて以來御自宅三階にて引續き御兩親の御看護の許に専ら御静養なされて居りました。大分お悪い由を伺つたのが神宮大會の折でした。早速止むに止まれぬ心から一同心からのお見舞をとさゝやかな募金を始めました所、末弘會長、田畑先生、松澤先生並びに聯盟役員、オリンピック選手の方々等、東京、横濱、名古屋、京都、大阪と意外に多くの方々の御援助を頂き、私共ほんとうに嬉しく一日も早く、淋しい御病床をお慰め致し度



ユーモアに富んで居たウーちゃんの姿

いと計畫を進めて居りました。所へお尋ねして居りましたお尊父様よりのお返事にて、壺井さんも向ふ一ケ年も静養なさればとのお便りに接しホツト皆々安堵致し、残る方々の應募を急いで居りました矢先き、突如此意外の訃報に接した次第でございます。此間私の伯父が上海に居りますのを幸ひ皆様のお心を傳へて御見舞ひにも伺ひましたが御本人には御會ひ出来なかつた由申して参りました。私共の至誠も未だ天に通ずに至らなかつた物か、折角の皆様のお心盡しを壺井さんの御生前にお届け致す運びに至らず計らずも御靈への手向けとなつた事はかへすがへすも残念に存じます、此責の一つは私にも有ると存じ専ら^{メイモク}黙して慚愧に絶えず皆様のお前にも深くお詫び申上げる次第でございます。最後に御靈安らかに在ませと御冥福を深く念じつゝ筆を置きます。

ウーちゃんの御逝去を悼みて

大澤 マサ代

折から開催中の秋季神宮大會も盛會裡に終了し、親類の神宮大會關東州代表の一人房子さんが私の許に泊られたので夜遅く迄話し込み、翌朝早目に起きて朝食の仕度をと一人ソツと床を抜け出して玄関に投げ込まれてあつた東朝を繰りひろげて思はずアツと聲を立てゝ了つた。運動欄に壺井さんの訃が報じられてゐたのだ。

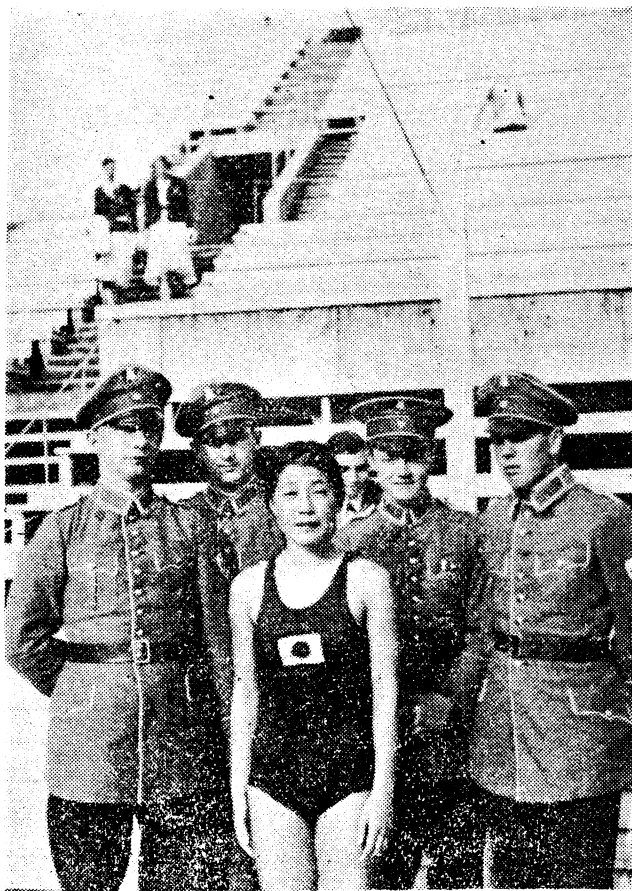
何んたる悲しい事實だらうか、あのユーモリストのウーちゃんがみまかられたなんてどうしても夢のような気がしてならなかつた。

思ひ出は四年前に遡る。榮ある日本代表に加へて頂き河童の友一行九名と共に伯林大會に出發したのは六月も半ばを過ぎた緑したゝ初夏の日だつた。ウーちゃんとは御縁あつてかY・W・C・Aに於け



コロンボのモントラルピニヤ海岸ホテル庭にて壺井さんの茶目振り

るオリンピック候補の合宿練習の時に同じお部屋に寝起きを共にし、又あのシベリヤ鐵道に於ても同じく寝臺車に御一緒して妹さん株の私が及ばず乍らリーダーのお役目を仰せつかつて仲良く共同生活を續けつゝ盟朋ドイツのオリンピック大會に乗り込んだ事からはじまつて、女子寄宿舍の一ヶ月餘の練習から競技終了迄の永い日數を苦樂を共にした生活が走馬燈の如くに今もなほ頭の中を馳けめぐつてゐる。ユーモアに富んでゐるウーちゃんの一舉手一投足が爆笑の種となり、スローモアの大家を自他共に許しておられた彼の女の得々としたお顔が今はかへつて悲しい思ひ出としてくつきりと浮び上つてくる。フラウエンハイムの洪水騒ぎやデユツセルドルフ、パリーのホテルでの出發時に於けるウーちゃんの徹底したスローモア振りはその時は大目玉だつた出來事ではあつたが時が経つてみればそれがかへつて愉快な思ひ出話しとなつて私共の集つた折には必ず出る話題となつてゐるのだ。男子選手連の中では「ピツクリ箱」とあだ名されてゐた様だ。一種特別のあのキヨロリとした目玉で「さうですか？ 知らなかつた！」なんておつしやつた彼の女のあの聲が今



ベルリン、オリンピックプールでもてるウーちゃん

も聞える様な氣がするのも世界を異になさつたが爲か!!。

昨日再び觀た「民族の祭典」中にウーちゃんのクローズアップをみた時新たな悲しみを覺え人の世のはかなさを痛切に感じた。

ウーちゃんのあの美しい泳ぎのフォームが今は語り草とならうとは——。

遠く異郷の空にみまかれたるウーちゃんの靈のとしへに安かれと祈りつゝ思ひ出の稿を終る。

(妹禮子も書かして頂きたいのですが何分にも遠い北京に居りますので残念乍ら間に合ひませんので私が共にウーちゃんへの思ひ出を語らせて頂きます。訃報を聞いたのでせう、彼の女の死を悲しんで便りがありました——。)

水の友ウーちゃんの御逝去を かなしみて

兵 藤 秀 子

嗚々夢なれ夢なれ、そして夢ならば早くさめよと幾度び祈りしぞ、だがその祈りたるかひなくして、あの様にお元氣であり何事も熱心であり、ユーモアであつたウーちゃんが。嗚々今は幾多の語り草を残してこの世を逝つてしまはれた。はかなくも神の徒よ。哀れ若手にして散りはてた私の友ウーちゃん、考へれば考へる程頭中は混亂に落入るのみ、何んと書いて、又何んと言葉につくしてよいのかその考へすら、言葉すらなく、唯、淋しく逝つた友の御冥福を祈るより外に何物をも御座居ません。思ひ返して見れば種々の語り草はあれども、その語る勇氣すら今はもつていない私です。唯ウーちゃんウーちゃんウーちゃんと名を呼び叫ぶばかりであります、きつとウーちゃんの御靈が私の許へ來て夢でお會ひする時があるのを今から私は待つています。今は思ひ出に過ぎないあのベルリンでのオリンピック大會へ、同じ平泳選手として出場した練習の時はいつも勵精し合ひ二人一緒に泳いだのだつたのに、そして私の優勝の蔭にはよきウーちゃんと言ふ泳ぎ相手があつたればこそであります尊敬の念深くいつもニコニコ元氣でユーモアだつたウーちゃん私は心底より我が友の御冥福を祈つております。まだまだ書きたき事山程あれどこれにて止む。



芝生の水まきホースでいたづらしてゐるウーチャン

壺井宇乃子様のお逝去を悼みて

菅谷初穂

たしか一昨年の秋頃と記憶しておりますが宇乃子様からお医者様の診断に依り泳ぐ事を當分見合わせる様注告され、其の事に就いてオリンピック遠征歸朝後の事でも有りせめて自分の體力が衰へる迄は女子水泳界発展の爲に泳ぎ續ける意氣込みで居たものを今自分が病に負けて早くも第一線を退き後輩の指導にあたらねばならないのかと酷く煩悶して病める選手としての苦痛を訴へた手紙が來てゐた事を思ひ出します。併し其の後身體の調子も良くオリンピック遠征中も口癖の様に將來は滿洲か支那へ渡り彼地の土になるのだと、早くから大陸進出への希望を抱き何時も何かに驚いた様なあいくるしい大きな眼を一層輝やかして、あの人の癖だつた頸を傾けつゝ話しておられた事も有りましたが、まさか實現されるとは思つてゐなかつたのですが、其の後間も無く上海の日本女學校へ就任の通知に接しあつ!!と實は開いた口が塞がらない程一時は驚いたものです。併し就

任後も彼の温和な人なつこい性格に依つて生徒間にもとても親しまれ、幸福な希望有る日を送つておられる事を風の便りに聞き、宇乃子様なればこそ心から喜んでおりました、振返つて見ますれば、選手生活中的練習も熱心だつたし、良く伸びる氣持の良い泳法の持主で有つたと思ひます。唯だ瘦型で有つた爲もう少し身體に身が着いて來たなれば、前畑さんの後繼者として大ひに活躍して行ける人と多大の歡心を持つて期待されてゐましたのに、結局肥られなかつたのが、どこか病の原因があつたのでせうか、よもや此の様に早くなくなれるとは誰しも思はれなかつた事と思ひます。一時は新聞紙上の發表も誤で有つて呉れゝばと何度見なをした事とせう。それに病氣も近頃は忘れて毎日愉快的日を過してゐると云ふ事をいつぞや聞いて、境遇と環境そして技術と三拍子そろつた女子水泳界の爲には又と無い良き指導者を得て何より心強く今後の御活躍を大ひに期待してゐましたのにおしい人をなくした事とかへすがへすも残念に思ひます。宇乃子様も渡支の念願やつとかなひこれからと云ふ時に病に就き身體の自



女子體專時代(オ面……オ胸……オ突き)

由を奪られ何と齒がゆかつた事でせう。併しぢつと齒を喰ひ縛つて病と闘つておられたであらう、其の心の中と様子を想像するだにお氣の毒に思はれて今後の水泳界は是非共此の尊い遺志をつぎ大ひに奮發して一步でも早く世界の女子水泳界に頭角を表はし第二、第三の前畑さんを送り出す様になつて初めて宇乃子様にあらかな眠りに入つて載く事が出来又何よりの饒けかとも思ひます。最後に皆様と共に此の遺志をしつかり胸に抱き心に誓つて壺井宇乃子様の御冥福をから心お祈り致したいと存じます。

壺井ろの子様の逝去を悼む

松村昶子

ふと通りすがりに見たショウウィンドウの中に大きく寫し出された壺井さんの面影には、高く澄んだ秋の日の大空のやうに、言ひ知れない淋しさが秘められてゐた。——だが、それは見る者の持つ感情の働きからだつたかも知れない。何ものかをぢつと見つめたまま動かない。その横顔に、遠い異郷に病ひに苦しんでゐる壺井さんの姿を想像しながら行きすぎて行つたのは、いつの日だつたらうか……。

その日から數日ならずして、新聞でもたらされた悲報に接しなければならなかつた。

「逢ふは別れのはじめ」。誰とはなしに昔から言ひ傳へられて來たその言葉が今更のやうに身近かにせまつて來る。現實から樂しかつた過去へ、過去から現實へ、いろいろな想ひが、あわただしく腦裡を駆けめぐつて行く。ニコライ堂の鐘の音を聞きながら勵まし合つたオリンピックの合宿のこと、果しなく續くはらつばに咲き亂れた草花をみつめながら過したシベリヤの旅、そしてベルリンでの生活、試合、また四十日間の船の生活、忘れ得ぬこれ等の想ひ出をめぐつて、ありし日の壺井さんの姿がまざまざとよみがへつて來る。

オリンピックの翌々年の春、インターミドルの合宿練習を終へての最後の日、體專を卒業して先生としての新しい出發を前にした壺井さんと、また逢ふ日を約しながら別れて來たその日が一生涯の別れにならうとは……。

だが、現實は、あくまで現實であり事實は何處までも事實である。そして壺井さんの死は、やはり悲しい事實として今も尙、私達の心をゆすぶつてゐる。

ああ今は亡き壺井様

白井夫佐子

壺井さんと呼ぶよりも「宇ちゃん」と呼んだ方が親しみがありピッタリと來る。宇ちゃんと言へばあの面白い可愛らしい面影が浮ぶと同時に伯林オリンピック大會の御活躍、スタンドにあつての名應援振りそれから殊にあの有名な洪水事件を思ひ出す。そして又貴女特有の例のスローモー、手を頭に當ててやるあのゼスチャアー等々。

「宇ちゃん何處へ奉職するの？」と聞くときまつて「滿洲へ行きたいです」と言つてゐたわね、そして遂に願が叶つて滿洲とは少し違ふけど上海の學校へ目出度く奉職せられたのね、そして斯界のためひいては日本のため東洋平和の爲盡くして下さつて有難う、貴女も本望だつたでせう。それなのに未だ一年もたたぬのにみまかられようとは——、貴女も一人で本當に淋しかつたでせうね。そしてもう一目私達とも會ひたかつたでせうね。こんなセンチな事と言つたら現代式大和撫子宇ちゃんに叱られるかも知れないけど……。

日本は今新體制、私も遅れ馳せ乍ら宇ちゃんにならつてこの新體制に副つて目覺めた日本女性として活躍させよう。既に家庭の人となつて終つたので今更海外に雄飛なんて眞似は出来ないけど家庭にあつても心構へ丈けは同じ事、それが日本の爲だと思ふの、變挺な事ばかり申上げてしまつてほんとに失禮しました。之も宇ちゃんといふ親しみからつい言つてしまつたのだから許して下さいね。肉體は亡くなつても「宇ちゃん」といふ人間は永久に生きてゐるんですもの心から御冥福を御祈り致します。

壺井様の思ひ出

竹村 令

壺井さんの御病狀がはかばかしくないと前から知つて居りましたものの、こんなに早く思ひ出の記を書こうとは想像も致しませんでした。

「思ひ出」何といふ悲しい言葉でせう。黒枠に圍まれたお寫眞を見てもどうしても亡くなつたとは、信じる事が出来ないのです。同じ故郷京都の水の友として長い間仲良く共に勵まし過して來た過去の事等が次々と懐しく思ひ出されます。

はるばるベルリンへの旅行中のいろいろなエピソード。何時も一緒に私がいくら無理を言つても「令ちゃん令ちゃん」といつて何でもして下さつた優しい。ウーちゃん。又どんなに苦しい練習の時にも、何時もニコニコと心から楽しそうに練習に勵んでられた様、そうして最後の體專御卒業後、遠く上海に先生として立つて行かれたウーちゃんの姿等が昨日の様に懐しく思ひ出されます。終りにのぞみ謹んで壺井さんの、御冥福をお祈り申し上げます。

第十一回明治神宮國民體育大會

夏季大會水上競技之部 奉納日本泳法演技記錄

白山源三郎・竹村 公良

紀元二千六百年奉祝の意を籠めて特に盛大に行はれた。第十一回神宮體育大會に際し日本泳法の奉納が我水上競技聯盟指導普及委員會の準備により之に加へられた。且てなき多數の觀衆の前に於て眞摯熱心に演技が續けられ、遺憾なく奉納の誠を現し、よき日本泳法興隆の契機となつた。之を永く記念する爲、當時の出演者、種目、並に當時行はれた説明の原稿を抄録する。猶ほ演技は次の如く三日に別れて行はれたのである

第二日（九月二十一日）午後三時五十分

標準泳法(小學校兒童)

標準泳法(水泳指導者資格者)

救助法

演技

第三日（九月二十二日）午後二時四十五分

各派演技

水府流、野島流、水任流、觀海流

第四日（九月二十三日）午後三時十五分

各流演技

小池流、向井流、神傳流

女子團體演技

各流泳法の部

一、水府流

『沿革略』元祿年間島村孫右門正廣水戸に住し城北那珂川に於て鬪斗游を案出し水戸藩の子弟に教授す其子父業を繼ぎ島村流水術と稱し、爾來精熟の門人其後を繼ぐ。天保十三年藩主烈公弘道館を創設し文武の道を奨励するに當り、水術も島村流に基き諸流の長を採つて武術の一科に加へ、水府流水術と命名し、上公子を初め、下諸士民人に至るまで其技を修せしむ。後年藩士太田捨藏氏(幼名今村一太郎)幼より其の門に遊び修業に精勵し、更に幕府講武所に入り益々其の技を磨き擢んでられて水術の師範となる

所謂講武所三傑の一人なり。明治十一年東都隅田川の下流濱町河岸に教場を設け、水の狀態と遊ぶ目的とによつて變化すべき理合に基き、諸流派の長所を參酌考究し諸種の游方を案出しこれを子弟に授く、氏歿後門生等之を水府流太田派と稱す。

(イ)一重伸

加福 均三

水府流にては横體を貴び横體游方中一重伸を重んじ横體游方のすべての基本となる體は眞直に伸び出して横臥し顎を上方の肩に引きしめ扇足を行ふとき受手を體に沿ふ搔きつけて體前進につれ先手を下方に半圓形を描いて搔き受足の外股に收める

(ロ)二重伸正體及略體

本田 存

正略の二種あり。正體の方は水に横臥して靜に水面を滑つて進行するので専ら心の平靜を保つて水上にある氣持を去る心の修養になる游方で、略體の方は流水を横切り派れを溯つて進行する要あるときに用ひらる。手足の用法は前者に比して強く働かせ進行力を増大し流水に負けずに進行し得る方法で實用的價値が甚だ大であります。脚は回使用する事は正略とも同様ですが、前者は體を眞直にして目尻が水につく位に顔を横向けにし搔手を一回にし脚の第二の扇つた後に先手を搔いて外股に收め進行する後者は搔手を二回使用して進行を増大させる扇足は兩者共第一第二と縁が切れてはいけず一つになり働く事が必要。尙正體と稱する方は水戸藩江戸詰水術師範市村先生の泳法で後者は水府流太田派の流祖太田先生の直傳の游方なり

(ハ)兩輪伸

三上 節三

柔にして長時間浮游し得るゆへ遠泳に適す。足は扇足を用ゐる手は左右兩方へ水を少しく押へる氣味にて半圓形を描き二箇の半輪を併べたる如き形を作るゆへ兩輪伸と稱す。水府流基本游法なり。

(ニ)平伸

仲野 秀治

此の游方は波浪高きとき浪を押へ又平水にありては前方に障害物多き場合や、海草、水藻等繁生する處に於て泳ぐときに用ゆ。體は平體で頸より上部を水面に露し扇足を行ふと同時に受手搔いて眞足の股上に收め前伸盡きざる中に先手を下方に半圓形に搔いて受足の股上に收め伸び切りて次の動作に移る。

(ホ)片拔手一重伸 加福 均三

此の游方は一重伸の受手を搔き上げ先手の搔きつけるにつれ水面に沿ふて肩先から水に入れ次の動作に移る。速泳(クロール・ストローク)が行はれない以前には中距離以上の競泳に此の游方が多く用ひられた。

(ヘ)片拔手二重伸 加福 均三

(ト)拔手伸 佐々木 救

此の游方は暗夜若しくは濁流を泳ぐときに用ひられ、體は横體にて左右何れかの手が常に頭上に置かれて頭上を保護することにする。流祖太田捨藏先生の考案によりしものなり。

(チ)小拔手 同略體 佐々木 救

大拔手應用及變形にして俗に跛拔手の稱あり。泰西のトラヂェンストロークと同一形なり。諸游法中最も急速に伸行し得べき游法なり。

(リ)大拔手雁行 三上節三、三浦

扇足を左右交互に行ひ手はそれにつれ左右交互に腰の邊より抜き上げる。流水を遮りて直進し又は溯り渦より脱出するとき急の事變に疾行を要する場合等に用ひらる。従つて手足の動作激烈なり。然れども各流派にて重んずる游方なり。

〔注意〕説明中眞足受足と云ふことは右下游ぎの場合眞足左足、受足は右足のことを云ふ。

二、野島流

『沿革略』弘安元年八月從五位下藤原秀時流球に渡らんと船を艤し藝州より玄海灘に出たが暴風に遇ひ漢土(支那の意)に漂着し貴公商公に事へ漢號船、軍船法、兵學、游泳術を學んだが、秀時の子秀信(野島小次郎秀信)が歸朝して志を得ざるところから瀬戸内海の野島に據り海賊となり部下に游泳術を傳授した。これを野島海賊流の起源として居る、室町の頃伊豫の豪族村上義弘瀬戸内海の諸海賊を征服して野島に據り自ら水軍の將と唱へ大に游泳術を獎勵したとあり、室町の末桃山の始頃藝州倉橋島の人名井豊前守重氏游泳に長じ曾孫重勝は野島海賊流の達人

として聞へ、寛文年に至り紀伊大納言頼宣(薄祖南龍公)これを召して水藝師範とした。これより野島流は小池流、岩倉流と共に和歌山藩の一派となつた(世にこれを紀州の三派といふ)重勝の孫武助に至り子なき爲親族なる多田家之助安賀(水神の稱あり)に譲り爾後多田家は水軍の戦術家游泳の指南役となり、故多田一郎氏(十七代宗家)に至る。

(イ)浮身術諸體 濱寺水練學校師範 中尾 保

捨浮(すてうき)、十字浮、筏流(いかだながし)枯木流(かれきなながし)達磨浮(だるまうき)、坐禪浮(ざぜんうき)枕浮(まくらうき)立浮たちうき小池派の潜水に對し野島派は古來浮身を得意とした。ここで擧げた名稱は明治四十三年以來濱寺水練學校で用ひて居るものである。

(ロ)搔分(かきわけ) 濱寺水練學校教授 關重久

跳出法的一種にして鱗飛の連続である。兩手で半圓を畫きつつ腹の下へ水を押へつけ兩脇下から後方に抜き反動と脚部の動作とで水面に跳び上る。

(ハ)拔手(眞、行、草) 濱寺水練學校教授 石澤宏造

十七代宗家故多田一郎翁の得意としたもので眞は靜拔手、行は二つ搔草は一つ搔。

(ニ)沖の軍扇 濱寺水練學校教授 石澤 宏造

" 栗原 榮二

" 關重 久

" 尾川 憲三

" 東 勤

平泳法的一種で傳馬浮(前鴨後鴨等と稱す)の應用である。(五人一組で行ふ)

(ホ)手足縛二段搦 濱寺水練學校師範 中尾 保

足首だけを縛るを一段搦足首及膝を縛るを二段搦と云ふ。腕は勿論背後に縛しその上繩で搦んである。脚部の屈伸のみにて進む。(上向になつた時にこの動作はよくわかる)海賊傳來の泳法である

三、水佐流

『沿革略』寛永十九年徳川頼重公讃岐(香川縣)高松に封せらるるや瀬戸内海隨一の水城として水軍に必要上游泳術の要を痛感せられ、水戸下館藩より扈從せし藩士今泉八太夫をして游泳師範に任命し、讃岐近海に適する泳法を工夫選定せしめたり。仍て今泉八太夫は目錄十二箇條を制定して茲に高松藩游泳術の基礎を敷けり。

享保四五年の頃今泉八郎左衛門盛増、江戸深川幕府水練所に於て傳書を受け當流泳法に多少の修正を

加へられたり。斯くして幕末に至り八太夫の裔星野平次郎本流、研磨工夫の功を積み水任游泳術を組織して永年に亘り自營之れを教導なしたり。明治四十年に至り香川縣教育會の申請によりこれと合併なし同會師範として大正二に至り一家の事情のため上京せり。依つて平次郎實弟高橋五郎其の跡を襲ぎて師範たり。高橋五郎没後其の高弟相協力して當流を統襲なし居れり、故星野平次郎の嗣子龜太故高橋五郎嗣子數良家元直系たり。

(イ)片鬩斗泳 井筒 一郎

本泳法は右或は左横體にして手は交互に水を搔き下側の手は頭上に伸し前面より股間に半月形に水を搔く。上側の手は下側の前肩より上側の外股に水を搔く足は逆扇に水を挟み且つ踏み進む。目的は海中にて相當に速く泳ぎ、右又は左に對照物の在る時の泳法とす。

(ロ)兩鬩斗泳 稻本 京子

本泳法は右片鬩斗、左片鬩斗兩泳を交互に繰り返して泳ぐ目的は靜に前進を要する時の泳法なり、

(ハ)棒拔手泳 藤本 正明

井筒 一郎

吉田 邦彦

本泳法は兩腕を背後より一本の棒に縛り付け、兩鬩斗泳の體及び足遣ひをなし手は左右交互に拔手に泳ぐを原則とす。但し腕は肱を曲ぐるこゝ能はざれば手頸、手の平の働を充分ならしむ。目的は相當上達せるものを一層鍛鍊する方法にして、手足の水の搔き方、挟み方、踏み方を強養す。後に至りては麗泳となり上覽泳の一種となれり。

(ニ)平泳 川崎 重男

本泳法は身體及脚は右或は左兩鬩斗の形より始り一度足を扇りつ後一旦立體となりて更に今一度下側にて扇りし足を以て扇り、次に反對側に移り同様に繰り返す。手は兩肱を曲げ手の甲を上を上に掌を下に兩母指外側を乳の下に持ち來り水平に直前に伸し左右の手を兩側を靜かに水を壓へて後方に搔き今一度搔き又始めの形に復して繰り返して前進す。目的は極靜に前進する時の泳法なり。

(ホ)肱拔手泳 高橋 數良

本泳法は體及足は平泳と同じ。手は左右共立體の時より始まり、右或は左後肩隅にて肱より水面に抜く、肱は腕を直角に曲げ指先自然に垂れ指先水面に出でたる所にて止め指先より雁の飛び立つが

如く前方に掌を前に向け伸し水面に落し掌にて水面を壓へたるまま四五寸進み直下より後方に水を壓へ又後方より眞横又眞横より前に大きく水を壓へ後方に肱を抜き左右交互に動作す。本流最後の麗泳とす。

四、小堀流踏水術

『沿革略』 細川氏豊前中津より入りて熊本五十四萬石を領するや游泳を以て武道修業の一に加へ、藩士を督勵して之を修めしむ。享保年間(二三七六～二三九六)村岡伊太夫藩公より師範を命ぜられ大に游泳の技を考究せしも未だ之を完成するに至らずして没す。その子小堀長順の師範となるや亡父の遺志を繼ぎ大いに斯道の蘊奥を極め寶曆七年(二四一七)踏水譯、水馬千金篇等を著し、大阪に於て出版す。長順の没後、池部彌一郎、山東彦右衛門、能勢熊之允等相繼いで師範となりしが師範小堀水翁の時廢藩置縣となりしを以て門弟相議して猿木宗那を師範に推し、宗那没後小堀平七その直流を傳へ七代約七十餘年を経て今日に及べり。平七師は猿木氏に出で七才にして小堀家を繼ぎ、明治二十六年の頃東京に出で爾來没する迄四十餘年専ら學習院師範として斯流を傳へ、同院御在學の皇族各宮殿下も亦就て學ばせらる。平八郎没後令弟城美核師、師時を繼ぎ第八代とならる。師は京都武德會に教へらるる事三十有餘年、八十餘才にして猶矍鑠として熊本に在住さる。當流は立體泳法に優れたり。

(イ)立泳(タチオヨギ) 京都武德會教士 仲 信一
小堀流踏水術に於て最特徴とする立體泳法の基本にして脚は左右交互に踏むだけで、決して廻すのでは無い。手が自由なるにより水上で種々の業をする事が出来る。

(ロ)水書 京都武德會練士 宮城 清子
立游の上達した者は水上で種々の業をなす事が出来此の水書もその一つなり。

(ハ)足撃並に早拔手 京都武德會教士 白山源三郎
足撃は最も水面淺く靜かに泳ぐ方で清い所、水底に杭、藻、岩等があつて危険な時、水底を調べる必要ある時、危険な海岸より上陸せんとする時、淺瀬を下る時等に用途の多い游方である。

早拔手は小堀流獨特の特徴ある扇足を以てする拔手で、速かに目的物殊に敵に近探することを目的とす。早さと氣勢を尙ぶもので脚の使ひ方と手脚の調子との點で跋拔手とは相違す。

(ニ)御前游(ゴゼンオヨギ) 學習院 戸澤 秀壽
立游の上達した者の行ふ游ぎにして前進、停止、
回轉、針前進、強弱各種の脚の使ひ方を綜合し連
續的に用ふる游ぎで泳游方の進んだ事を綜合的に
表す游ぎなり。特に氣品を尙ぶ。昔藩公の御前で
泳ぎの上達の程度を上覽に供する爲に游いだ事か
ら御前游と云ふ。

(ホ)浮游(ウキオヨギ) 京都武徳會教師 高田利正
立游の強さ水との調和の度の進んだ者の游じ難し
い游方にして水がよく身體に適ふ様にならなけれ
ば出来ぬ。

(ヘ)拔手游(ヌキテオヨギ) 學習院 猿木 恭徑
水を左右自在にあしらつて泳ぐ游方で水に充分馴
れて始めて行ひ得るものなり。

五、觀海流

『沿革略』 武州の浪士宮發太郎信徳諸國遊歴の途
游泳術を習得して後津藩に来る。藩士師に就て教導
を受し、老臣藤堂出雲其妙技に感じて觀海如陸の句
を致す。此に於てか師は自得せる游泳術を基として
獨自の一派を編む。觀海流洒水術是也。克^レ長途の
遠泳に堪ゆ、爲に津藩武道の一として重せらる。山
田省助衣鉢を受けて宗家となる。明治初年津市阿漕
浦に洒水道場を開きて觀海流を數授す。流を汲むも
の逐年その數を増し、今や關西地方は勿論弘し全國
に普及して國民的游泳法となる。明治二十四年八月
大正天皇皇太子の御時二見浦に行啓の砌畏くも家元
以上五十余名、御前游泳の光榮に浴す。後我海軍に
於ても當流を採用せらる。嗣山田龍之進海軍兵學校
吳鎮守付、日本體育會北海道支會の教師として専ら
斯道の發達に貢獻せり。現家元山田慶介津に在りて
流を統へ以て今日に至る。

直接指導せる門弟や一萬三千余名に及べり。

(イ)平泷の型(ヒラオヨギノカタ) 重髮 猛雄
藤原 淳一
井田 勇雄
加藤 凱久
山本 誠士

平泷は當流基本泳法にして「三つの見込」「四つ
の拍子」「陰陽水さわり」やさしく泷じ法なり。
「三つの見込」とは體の具にして「四つの拍子」と
は速さを示すもの「陰陽水さわり」とは手足の運
動々作と云ふ。即ち靜かにして弱からず中庸をと
りて泳ぐのがこの平泷の最も大切な處なり。

頭につける陣笠は竹製のもので、家元は赤色、師
範はタメ塗、教士は青漆で塗つたものでそれ以下
は黒色とす。

(ロ)群燕の事(ムラツバメノコト)

指揮 柏原政勝 大將 山本誠士
重髮猛雄 井田勇雄 森 武夫 加藤凱久 加
藤正一 柳澤 忠 今西哲英 中原一政 本永
秀彦 西尾 一 岡山英太郎 大西正翁 山本
靜忠 高橋將浩 猪飼 茂 木村嘉宏 佃 泰三
千藤尙二

此の法は沖渡りの一種として「群雀」ノ事と共に
最も重要なる兵法とせられ、傳書の中に「御舟又
は御馬の組いづれ共大將を守りつゝ水練達者なる
者の泳ぐ法なり」とあり敵前に泳ぎ渡る時は「群
雀」を用ひ敵なき時は「群燕」をなすものなり而
して急に敵襲あられたる時本船よりの太鼓の合圖
で體形を様々に取りかへて戦にそはへるのであ
る。之は最も衆團訓練を要するものなり。鼓聲掛
聲をなし太鼓の打ち方には「禮鼓」「序、破、急」
「歡鼓」等の打ち分け方あり、掛聲には勇を養ひ禮
を講ずる即ち「養勇講禮」であつて最後に「鬪の
聲」を作つて上陸する之を「勇の言葉」と云ふ。

(ハ)龍戰の事 頭取(太鼓) 柏原 政勝
審判 拓植 清一
山本 誠士

東京隊 隊長 本永秀彦 田中正男 笠井修二
中 原一政 山本靜忠 岡山英太郎 高橋將浩
猪飼 茂 半澤六郎 尾上兼正 渡邊九一 西
谷暉彦 大村一久

津隊 隊長 井田勇雄 御給 衛 重髮猛雄
長谷川治久 岡部政藏 江崎和男 加藤正一
小池庸夫 西尾 一 佃 泰三 大西正翁 並
木濱吉 千葉尙二

此の泳法は畏くも 大正天皇皇太子の御時伊勢二
見ヶ浦に行啓遊ばされたる砌御前に御臺覽の光榮
に浴したのものなり。之は水中試合の一つにして觀
海流傳書水中合戦心得の卷に「相手方の舟を沈め
或は乗りとりたる時この勝負決るべし」とあり元
來舟を用ひてなすものなるが本日は舟を略して行
ふ、太刀は元來背に負ふものなるが便宜上腰にさ
して泳ぐ。各隊とも各々鉢巻に素焼の「カワラケ」
を付け木太刀を以てこの「カワラケ」を割り合ひ
「カワラケ」の割られた者は負にしてその者は脇

に引き取る。然して大將の乗つた舟に迫るのであるが本日は隊長を負かしたる時その勝負をつける

第四日（九月二十三日）

一、小池流

『沿革略』流祖を小池久兵衛成行といふ駿河の産なり。紀伊徳川藩祖徳川頼宣駿府より移封の際船奉行竹本丹後配下の水軍の士として邕従、和歌山に來り船手の衆に水藝を指導す。維元和五年八月の事にして實に三百廿二年前也。四代三郎房長は八代藩主重倫の指南たり。其技特に勝れた事が故に水右衛門なる通稱を授けられ大に家名を掲ぐ。七代水右衛門敬信の時明治となり藩營道場は私營に改められたるも九代長之助の折明治三十六年度を最後として紀伊川の小池水練場は廢止せられたり。されど明治三十年大阪に於て白井流を唱へたる白井胤雄及び本間水練學校を起したる本間秀次郎は共に紀伊川小池水練場に伴頭たりし者、大正十年頃知多流を創始せる井上富造は本間門下なり。伊勢國度會郡田丸に當流の傳へられたるは天明五年（百五十六年前）にして前記四休小池水右衛門房長の高弟たる加藤新五右衛門良房が城主久野近江守輝純の命を受け外城田川に道場を開きたるに始り連綿今日に到る。明治廿四年八月十七日二見ヶ浦に於て良房の孫加藤成次指揮の下に田丸水練場泗士廿一名演武し東宮殿下の臺覽を恭ふす。加藤成次の嫡竹雄は明治三十四年名古屋水泳協會を設立し、名古屋地方に於ける泳隆昌の端緒を開き田丸時代を加算し泗道教育に盡瘁する事四十年にして昭和四年に歿す。其間大正八年外城田派小池流を創始せり。右竹雄の嫡石雄昭和六年十月二十五日九代小池長之助より家元を繼承し第十代として立ち今日に及ぶ。

家元系譜

小池久兵衛成行→同仁右衛門重行→同仁右衛門勝信→同水右衛門房長→同水右衛門友信→同水右衛門友正→同水右衛門敬信→同恒之助→加藤新五衛門良房→同新五衛門次→同三郎五郎成次→同竹雄直次→加藤石雄

(イ)平泳正體

水野 益一

當流の基本技にて蛙脚なり。小池流の全技術七門四十八法の根源的の技である。此の泳方は足が進行と浮力を司り兩足をける時は兩手の指は前方へ揃へて差し伸ばす。同時に息は吐し次に足を縮る時には兩手を開き浮力を助け息を充分吸ふ。一呼

吸一動作にして少しも無理がない。尙左右均等の爲疲勞を覺ゆる事遅く、長時間に堪へ長距離泳法としては眞に理想的なり。且つ目的物に向つて正しく進し方向を誤らず尙水面に平伏の姿勢なれば安定度極めて大にして變に應じ機に乗り如何なる泳法にも直に變ずる事が出来る泳ぎ方である。

(ロ)上底(平泳略體)

遠山 哲夫

底泳の一つの技であつて相當のスピードを保ち長距離を泳ぐのに用ひて便利である。軽くスムーズに前進する。足は蛙足を用ひ手は充分に前方に伸ばし次で水を搔し此の時足は強く水をける。

(ハ)兩拔臂

嵯峨崎新一

當游にて前進しつゝある時突如物見(敵狀偵察)の爲急激に飛び上る游であつて其の時足は強く水を蹴る。充分に上體を空中に飛び上らせなる可く長時間空中に體を置くため卷足を使ひつゝ除々に水中に入る。尙當游は水中より高所に飛びついたり亦流れの激しきとき押流されることを防ぐに用ふ

(ニ)二つ搔

遠山 哲夫

拔手門に屬し拔臂正體、片拔手などと混用して用ひる。水中の障害物を除去したり或は杭、藻等を探りつゝ濁水や不安な水中を探り探り進み極めて靜かに進む游方である。足は蛙足にて左右交互の手にて水を二つ搔し間に他方の手を抜いて泳ぐのである。

(ホ)徐拔臂

嵯峨崎新一

立游門の一技で大變美しい游ぎなり。難しい游方にして足は卷足を用ふ。

(ヘ)拔臂正體

水野 益一

拔臂門の基本なり。瀬の早き處とか渦の處を泳ぎ切るに用ふ。此の泳方は蛙足を用ひ足の動作と手は交互に抜く、平泳正體と同じく眼高(水面より眼の高さ)高き爲視界大にして目的に向つて急行し武術としては重要なる技の一つなり。

(ト)鷗

嵯峨崎新一

遠山 哲夫

此の泳は初の鷗泳ぎと稱し立游門の應用技であつた。水中にて鷗の戯るが如くに泳ぐのである。明治二十四年八月十七日二見ヶ浦にて東宮殿下の台覽に供したる折興を添るため手に初めて扇を持つて游いだのである。爾來當流の「譽れの技」となつたのである。此時より扇持鷗の新しい名が出来た。

此の泳ぎの足は巻き來を使ひ靜かに水の上をすべ
る如く遊ぶのを特徴とす。

二、向井流

『沿革略』 向井流は江戸時代早き頃御船手奉行たりし向井氏を宗家とし御船手組の武士が必修の武道として俗に御船手泳ぎと稱せられたり。本流は心身の鍛錬と軍用とを其主なる目的とせしが故に泳方に虚飾なく、平泳、拔手、肩差、平水等其最重要基本游泳法とす。殊に飛込には逆下、順下、式飛ありて本流の特技とす。應用技術には浮身の鱗飛、舟背負、甲兜着、格闘法、敵陰れ、長時間潜行法、水馬術等あり。又上達者の餘技として觀衆の目を喜ばす應用泳法に前鴨、後鴨、扇子返し、邯鄲、水車、水書、水畫、瓜剥き、配膳、試し切等あり秘傳として人格技倆共に優秀なるものに授する、平水術七箇條、波越術五箇條及び奥傳あり笹沼流は本流より出でたるものなり。

(イ)平泳 上野徳太郎

向井流の特色を現す代表的の泳法で、平體であるが常に半身に構へて敵をみながら進む點に特徴がある。長距離を泳げると共に相當の速さもある敵前泳法である。

(ロ)大拔手 山本 次郎

本流は軍用がその主な目的であつた爲、泳法に虚飾が無いのが本來であつたが明治時代に隅田川に入つて可なり見て呉れ泳ぎになつた嫌がある。

(ハ)邯鄲^{カイン} 上野徳太郎

水面上に左右どちらか一側の片手と片足を出しあたたかも水面に横臥してゐる形をする。掌と足の甲の特殊な使ひ方により水を壓して浮きをとる。

(ニ)平水 山本 次郎

流れを横ぎる時などになすべし周圍の水を動かさぬ様にする巻足泳法で所謂立泳ぎである。

(ホ)水車^{スインヤ} 上野徳太郎

特種な扇子足を使つて、身體の前方に兩腕を揃へて伸し掌を外方に向けて揃へ、立體の身體を軸として左又は右に廻轉する。身體の上下動廻轉中に於ける斷縛續のないのを理想とする。向井流の特技と云はれて云る。

(ヘ)跋拔手 山本 次郎

小拔手の略體で片扇りで兩方の手を抜く爲に跋の型になる。明治時代短距離競泳は殆んどこれを用ひたものである。

(ト)肩指し 並木忠太郎

向井流獨特の横體、靜かな泳ぎなり。

三、神傳流

『沿革略』 日本水泳史上實績的に最古に屬するもの、一つであつて徳川初期に伊豫の大洲に創められその後松山、作洲、津山を経て江戸に入り全國的に大きな影響を與へて居る。扇足横泳ぎの代表的なるものであつて古雅端麗なる泳法である。殊に所謂横泳ぎを基礎として之を游方と謂ひ泳調を三段に變へて眞、行、草とし水位を水面、水中、水底と泳ぎ分け正體三段九位の方と稱して各種泳法に及ぼして居る所の組織的な形成を既にこの時代に有して居つた點は世界無比とも稱すべきである。游方の草を以て滄海一心の位と稱へ人間の自然に對する意極の構へとした考も味があるし強い有效な扇足の横泳ぎを基礎にして派生した各種の變化ある泳法にも見るべきものが多い。

(イ)游方(眞、行、草)

松澤 一鶴

神傳流泳法に於ては基礎泳法を單に「游方」と云つて居る。然して泳の調子を三段に分けて眞、行、草として居る。あたかも文字の楷書、行書、草書に於けるが如く變化の多い自然の水に對して泳ぐ時の心構へを三段に分けたものである。

『眞游方』は最も正しい形で且強く泳ぎ、伸を充分にとつて水と人との調和をとるのである。扇足を用ひる横泳ぎ泳法の代表的なもので日本水上競技聯盟制定の標準泳法に於ける「伸し泳ぎ」と稱して此の『眞游方』が採用されて居る。

『行游方』は形に於て眞游方と餘り違はないが心構と調子をずつと樂に、伸も餘裕を残して泳ぐ。その爲に稍荒い水にも堪えられ、實用性も多くなつて來る譯である。扇足泳法の習得は對稱的な蛙足泳法に較べれば稍難しく完成も年月を要するが、水中に於ける作業力は各種泳法中一番大きい。『草游方』は泳ぎの調子はずつと柔かに水に逆はずあしまでも自然に従ふと云ふ心持で泳ぐ。その爲に長距離を泳ぐに適す。又如何なる荒天に會つても人間の行ひ得る最後の泳法であると考へて古來本流に於ては「滄海一心の位」と唱へてこの泳法の價値を高く見て居る。

(ロ)諸手伸

齋藤武五郎

本流の游方を基礎とする變化の一部にして、此の泳ぎ方は扇足に兩手同時の強い搔きを加へた最も力強い泳法である。但兩手を同時に搔くので釣合のとり難い難い技術を要するが味のある面白い泳法である。以下變化を示す泳法演技は各眞、行、草があるがその標準的な眞游方のみ行ふ。

(ヘ)拷伸^{クワシノビ}

武藤 秀三

此の泳ぎは強い扇足を連続的に使用し又兩手を交

互に掻いて力の途切れる事のない泳ぎなり。速力も早くなるが元來流を溯る爲に工夫されたもので速泳の行はれぬ昔には非常に大切なものであつたと云ふべきで顔のあげられ得る點では速泳に優る

(ニ)三段伸 松澤 一鶴

神傳流には二段伸、三段伸と云ふ種目があり特殊な種目になつて居るが實用と云ふより游方の釣合の習練の爲に種々役立つものとして尊れて來たものである。

(ホ)片手抜 齋藤武五郎

手足の使ひ方の鍛錬であると共に平體に於ける水に對する體形を會得する泳ぎにして、常に先手に身體を乗せて伸びる様に進んで行く。應用としては潮流の多い處での泳ぎであり又敵前に於ける用心として顎を常に水につけて目標を小さくし手を出來得るかぎり水面近く持つて行く。疲れを防ぐ爲に本扇と逆扇と足の使方を交互に替へて行く。

標準泳法 (小學校兒童) 之部

國民皆泳の理想實現の爲我國現代に於ける最も簡易にして最も正しき標準的なる泳法を日本水上競技聯盟に於て研究、昭和五年之を定め假に標準泳法と稱し來れり。

最も正しき事を心掛けたると共に何人にも容易に修得し得る様簡易なる事をも心掛けたり。小學校兒童も勿論充分修得を得、之は東京各小學校兒童による本泳法の演技なり。

A 速泳 男女 東京市内小學校兒童

B 背泳 男女 "

C 平泳 男女 "

D 伸泳 女 "

標準泳法 (同水泳指導者資格者) 之部

本泳指導者養成に當りては標準泳法の修得及び之が教授法の修得を基準としたり。

之は日本水上競技聯盟主催毎年行ひ來れる水泳指導者資格檢定試験合格者による本泳法の演技なり。

速泳、平泳、背泳、伸泳、扇平泳、立泳

演技者

福士直次郎、鹽田粹、吉田勝平、佐藤彌一、中野守一、森島安太郎、米谷義郎、秋山裕、高田三喜治、久俗實、朝香弘文、高橋寛、吉田八郎、豐田和知、野上大也、大久保直一、鈴木三資、中村胖、林佐一、坂理博、後藤均、小杉清一、布施十二、左近允正短、田頭亨、星文雄、河野日出雄、三宅與一、岡田幸雄、芳賀善次郎、澤田又一、岩田侃、米谷義文、福田正一郎、杉浦博、山田明、安達誠、以吉尙子、兼信雅子、河津タカ子、池谷妙子

救助法之部

(イ)後方よと近づき頭部を掴まへて運ぶ方法

(ロ)前方より近づき髪の毛を掴んで運ぶ方法

(ハ)潜水して近づき胸部を抱へて運ぶ方法

(イ)疲れた者を連れてゆく方法

(ホ)前面より首を掴まれた時の解放する方法

(ヘ)背面より首を掴まへられた時解放する方法

(ト)両手にて掴まへられた時解放する方法

(チ)二人抱き合つてゐる時解放する方法

(リ)人工呼吸法

演技者

森秀臣、倉持治一、鈴木三省、坂理博、中山敏男、米谷義郎

演技之部

(イ)平 跳 向井流に於ける「逆下」と大體同じ

(ロ)早抜手 小抜手略體と同じ

(ハ)横 泳 一重伸と同じ

(ニ)支重泳 平泳の變體にして四十五度以上の立身 平野 豊

女子團體演技之部

(イ)樂水群像

樂水群像は一切の流派に拘泥せず愉快に水に戯れ水と親密になるところにその生命ありとして居る

濱寺水練學校女子部

指揮 高石覺三郎

高木久代 高田初子 堀悌 島村ユウ 山本周子 野口種子 齋藤ヒキ 芝田佐彌子 山尾喜美子 中島郁子 濱谷淑子 黒川文子 天野美知子 松下千加 小門前數子 鍋島蘭子 大谷壽美子 大坪愛子 五稻綾子 村岡絢子

(ロ)靜抜手、一重伸、諸手抜、二重伸、大抜手、片抜手、水書

東京府立第六高等女學校

東京女子水泳學校

野口徳子 丸山ヤス 林壽子 蔭山美佐子 鈴木靜子 登丸ゆり子 岩田英子 田中安子 町田行子 和田君枝 大谷秀子 酒井周子 廣瀬日出子 今吉尙子 加納尙子 粕谷稔 丸山マサ子 小泉幸江 小野美知子 後藤伊基子 内海通多子 永見淑子 高橋智子 鳥崎直子 阿曾沼あき子 河津タカ子 有本幸子 藤田彌生子 西部夏子 西部あい子 五十嵐操 中原房子 佐藤敏子 三好正子 鈴木眞里子 見須澄子 武藤玲子 伊藤ちゑ子 柳澤明子 大江孝子 鈴木千鶴子 五島佐記子 佐々木芳枝 大津五四子 孝坂英子 松原久子 渡邊紀子 金子和恵

競泳世界最高記録

男子米制

Free style (自由形)

100m	P. FICK	U.S.A.	56.4	1936-2-11	New Haven	25y
200m	J. MEDICA	U.S.A.	2:07.2	1935-4-12	Chicago	25y
300m	J. MEDICA	U.S.A.	3:21.6	1935-4-11	Chicago	25y
400m	J. MEDICA	U.S.A.	4:38.7	1934-8-30	Honolulu	25y
500m	J. FLANAGAN	U.S.A.	5:56.5	1939-4-3	Miami Beach	25y
800m	牧野正藏	日本	9:55.8	1935-9-15	東京	50m
1000m	天野富勝	日本	12:33.8	1938-8-10	東京	50m
1500m	天野富勝	日本	18:58.8	1938-8-10	東京	50m

Breast stroke (平泳)

100m	R. HOUGH	U.S.A.	1:07.3	1939-4-15	New Haven	25m
200m	J. KASLEY	U.S.A.	2:37.2	1936-3-28	New Haven	25y
400m	A. HEINA	Germany	5:43.8	1938-2-10	Copenhagen	25m
500m	A. HEINA	Germany	7:13.0	1939-5-7	Solingen	25m

Back stroke (背泳)

100m	A. KIEFER	U.S.A.	1:04.7	1940-7-5	St. Barbara	55y
200m	A. KIEFER	U.S.A.	2:24.0	1935-4-11	Chicago	25y
400m	A. KIEFER	U.S.A.	5:13.4	1936-9-10	Copenhagen	25m

Relay (継泳)

4×100m	Yale University (SUNBURN, HOPE, DUNCAN, JOHNSON.)					
			3:54.4	1940-3-7	New Haven	25m
4×200m	日本(遊佐、杉浦、新井、田口)			8:51.5	1936-8-11	Berlin 50m

女子米制

Free style (自由形)

100m	W. DEN OUDEN	Holland	1:04.6	1936-2-27	Amsterdam	25m
200m	R. HVEGER	Denmark	2:21.7	1938-9-11	Aarhus	25m
300m	R. HVEGER	Denmark	3:46.9	1938-1-23	Copenhagen	25m
400m	R. HVEGER	Denmark	5:00.1	1940-9-22	Copenhagen	25m
500m	R. HVEGER	Denmark	6:27.4	1940-2-24	Copenhagen	25m
800m	R. HVEGER	Denmark	11:11.7	1936-7-3	Aarhus	50m
1000m	R. HVEGER	Denmark	14:09.2	1940-9-3	Copenhagen	50m
1500m	R. HVEGER	Denmark	21:10.1	1940-9-3	Copenhagen	50m

Breast stroke (平泳)

100m	H. HÖLZNER	Germany	1:20.2	1936-3-3	Plauen	25m
200m	M. LENK	Brazil	2:56.0	1939-11-10	Rio de Janeiro	25m
400m	J. WAALBERG	Holland	6:13.7	1940-10-15	Amsterdam	25m
500m	J. WAALBERG	Holland	7:49.9	1940-11-5	Amsterdam	25m

Back stroke (背泳)

100m	C. KINT	Holland	1:10.9	1939-9-22	Rotterdam	25m
200m	C. KINT	Holland	2:38.8	1939-11-26	Rotterdam	25m
400m	I. van FEGGELEN	Holland	5:41.4	1938-2-13	Amsterdam	25m

Relay (継泳)

4×100m	Denmark (C. ARNDT, G. KRAFT, B. OVEPETERSEN, R. HVEGER)					
			4:27.6	1938-8-7	Copenhagen	25m

昭和拾五年度日本新記録

日本水上競技聯盟

男子之部

○印 25 米プール

種 目	時間	氏 名	所 屬	期日	プ ール	會 名
○100米自由形	56.8	遊 佐 正 憲	(日本横濱ゴム)	3-23	パラナ(ブラジル)	招 待 會
○100米平泳	1:11.3	葉 室 鐵 夫	(日本、日大)	3-17	サントス(")	日伯大會
○100米平泳	1:11.7	葉 室 鐵 夫	(")	2-25	フルミネンセ(")	招 待 會
○200米平泳	2:39.0	葉 室 鐵 夫	(")	"	"	"
○200米平泳	2:39.6	葉 室 鐵 夫	(")	3-1	"	記 録 會
400米平泳	5:56.4	藤 垣 亮 太 郎	(茨 木 中)	8-3	甲 子 園	中 部 中 等
400米平泳	5:58.2	藤 垣 亮 太 郎	(")	8-4	"	"

女子之部

200米自由形	2:44.8	簀 野 富 美	(東府四女)	8-19	神 宮	日本選手權
300米自由形	4:22.2	簀 野 富 美	(")	8-18	"	"
200米背泳	3:10.4	金 森 志 都 子	(吳精華女)	9-29	廣 二 中	廣島縣水上

主 要 競 技 會 最 高

競 技 會		距離(米)	自 由 形					平
			50米	100米	200米	400米	800米	
日本選手権	男	26.8 高石勝男 稻泳會	57.8 遊佐正憲 日大	2:09.6 新井茂雄 立大	4:46.4 牧野正藏 稻泳會		19:08.0 北村久壽雄 高知商	1:13.0 葉室鐵夫 日大
	女		1:09.8 Kロールズ 米國	2:44.8 旗野富美 東府四女	5:52.0 旗野富美 東府四女			1:31.0 南里千瑛子 神戸二女
關東選手権	男		58.0 新井茂雄 立大	2:09.6 新井茂雄 立大	4:50.2 新井茂雄 立大		18:58.8 天野富勝 日大	1:13.8 葉室鐵夫 日大
	女		1:15.4 飯島富子 東府六女	2:49.0 旗野富美 東府四女	6:03.0 旗野富美 東府四女			1:32.0 野中喜美子 東府四女
日本學生		25.8 高橋成夫 早大	57.2 遊佐正憲 日大	2:10.6 新井茂雄 立大	4:45.2 根上博 立大	9:55.8 牧野正藏 早大		1:12.4 葉室鐵夫 日大
關東學生		26.8 井上茂 國大	1:00.6 井上茂 國大	1:16.6 藤田貞男 法大	5:05.0 藤田貞男 法大	10:50.6 安達稔 明大		1:18.0 野田務 明大
關西學生		26.8 渡邊信夫 關學	1:01.1 林田義人 同大	2:19.5 寺石延也 高松高商	5:05.8 寺石延也 高松高商	10:46.3 抱高松高商		1:17.4 野口安造 高松高商
日本中等			59.6 宮崎康二 濱一中	2:16.0 杉浦重雄 見付中	4:54.4 北村久壽雄 高知商	10:12.8 北村久壽雄 高知商	19:52.4 酒井孝一 岐商	1:17.8 田畑三郎 京二商
東部中部			59.6 新井茂雄 濱農蠶	2:18.8 新井茂雄 濱農蠶	4:56.6 寺田登 見付中	10:20.6 牧野正藏 見付中	21:09.8 川口義和 沼商	1:18.0 川澄仲三 沼商
中部中部			1:00.6 長谷川卯佐美 修道中	2:16.8 宮本茂 多度津中	4:58.6 宮本茂 多度津中	10:26.2 堀勝美 商	19:59.4 酒井孝一 岐商	
西部中學			1:03.4 重山孝 加治木中	2:23.4 古木惣一 白杵中	5:11.2 古木惣一 白杵中	11:00.4 池邊俊雄 熊本商	21:25.9 和田康夫 白杵中	
日本女子中學		32.6 谷口美代子 京二條	1:14.8 谷口美代子 京二條		5:46.8 旗野富美 東府四女			1:31.2 後藤久子 畿北一
神宮競技	中等男		1:01.4 牧野兵庫 和歌山		5:02.2 酒井孝一 岐早	10:39.0 村山修一 和歌山		
	中等女		1:16.0 藤田佳子 高知	2:51.8 梶田宏子 愛知				
	實業團	26.2 田口正治 滿電	1:01.0 遊佐正憲 橫濱ゴム	2:16.6 津田國男 十合	4:57.2 津田國男 十合			
	青年團		1:01.2 樋口榮一 京都		5:04.0 天野富勝			
	海軍		1:02.8 小池政雄 吳鎮		5:13.8 鶴田耕助 橫鎮	10:51.0 知念繁夫 佐鎮		1:19.4 中村平三郎 吳鎮
日本最高記錄	男	25.8 高橋成夫 早大	57.2 遊佐正憲 日大	2:09.6 新井茂雄 立大	4:45.2 根上博 立大	9:55.8 牧野正藏 早大	18:58.8 天野富勝 日大	1:12.4 葉室鐵夫 日大
	女	31.6 松澤初穂 大阪水	1:11.0 小島一枝 本	2:44.8 旗野富美 東府四女	5:43.1 小島一枝 本	12:31.8 守岡初子 茨木水	24:08.6 守岡初子 茨木水	1:25.7 前畑秀子 楢山女
日本中等最高	男	26.2 長谷川卯佐美 修道中	58.0 宮崎康二 濱一中	2:15.8 平野亮 日大三中	4:49.6 北村久壽雄 高知商	10:12.8 北村久壽雄 高知商	19:08.0 北村久壽雄 高知商	1:16.0 小池禮三 商
	女	32.6 横井キヌ 京二條	1:13.8 古田つね子 中泉女	2:44.8 旗野富美 東府四女	5:52.0 旗野富美 東府四女			1:27.6 前畑秀子 楢山女
日本學童最高	尋男	32.6 讀岐寬 東京	1:12.6 高橋廣之進 岡	2:42.4 古橋廣之進 靜岡				1:33.2 岡野信三 和歌山
	尋女	36.8 奥野峯子 濱	1:27.4 百田サト子 和歌山					1:37.6 馬田貞 嶽
	高男		1:08.0 青木富夫 靜	2:25.2 川合宗夫 和歌山	5:36.6 青木富夫 靜			1:24.6 鈴木重一 濱
	高女	34.0 菊間みさ子 靜	1:16.6 高橋美代 靜	2:58.2 梅村米江 和歌山				1:37.5 有川愛子 和歌山

記 録 表 (昭和 15 年末現在) 50 米プール

泳		背 泳			繼 泳		混 繼 泳	
200米	400米	50米	100米	200米	200	400	800	300
2:40.4 葉室 鐵夫 日 大		30.4 キープアー 米 國	1:07.0 キープアー 米 國					
3:05.4 前畑 秀子 楯山女		39.0 伊藤 さとし 中泉女	1:24.2 Kロールズ 米 國					
2:44.0 大浦 誠一郎 立 大		32.2 坂本 响一 立 大	1:10.4 坂本 响一 立 大					
3:20.8 野中 喜美子 東府四女		40.8 佐野 慶子 東府四女	1:29.6 佐野 慶子 東府四女					
2:42.4 葉室 鐵夫 日 大		30.6 兒島 泰彦 鷹 大	1:08.0 吉田 喜一 早 大		1:46.0 早 大		9:02.2 早 大	
2:48.6 野田 務 明 大		33.0 本間 竹志 文理大	1:13.0 本間 竹志 文理大		1:53.2 東 大		9:44.6 明 大	
2:52.0 大崎 卯藤久 關 學		32.2 鳥居 高雄 和高商	1:13.2 角野 二郎 關 學		1:51.0 關 學		9:48.0 高松高商	
2:49.8 山口 正保 明 商	5:58.4 藤垣 亮太郎 茨木中		1:12.4 兒島 泰彦 修道中	2:38.6 吉田 喜一 佐伯中	1:48.6 東部中		9:25.4 西部中	
2:49.8 山口 正保 明 商	6:10.8 本村 秀正 札幌商		1:13.2 鷺谷 光明 宮城工	2:37.8 鷺谷 光明 宮城工	1:55.2 静岡中		9:53.8 中泉農	
2:50.2 藤垣 亮太郎 茨木中	5:56.4 藤垣 亮太郎 茨木中		1:11.2 兒島 泰彦 修道中	2:37.6 兒島 泰彦 修道中	1:53.0 中京商		9:37.2 高知商	
2:58.0 沖原 徳一 修猷館	6:18.0 沖原 徳一 修猷館		1:16.2 赤 峰 白杵中	2:51.0 黒佐 年明 佐伯中	1:56.9 畿北商		10:10.2 白杵中	
3:17.8 後藤 久子 臺北一		39.6 伊藤 さとし 中泉女	1:26.0 伊藤 さとし 中泉女		2:17.8 楯山女			4:20.0 淑徳女
2:51.2 藤垣 亮太郎 阪 大			1:13.2 西野 泰正 高知				9:28.0 愛 知	3:35.0 和歌山
3:18.2 河野 典子 京 都			1:27.0 金森 志津子 廣 島		2:17.4 愛 知			4:19.8 廣 島
2:55.8 吉田 勇 川崎造船			1:13.2 松本 進 昭和製鋼		1:54.0 横濱ゴム			3:37.8 川崎造船
2:54.4 中川 重雄 愛 知			1:13.6 明 文一 茨 城				10:01.8 神戸市	3:41.6 茨 城
2:55.8 中村 平三郎 呉 績							9:44.2 佐 領	
2:40.4 葉室 鐵夫 日 大	5:56.4 藤垣 亮太郎 茨木中	30.6 兒島 泰彦 慶 大	1:07.2 清川 正二 日 本	2:31.0 吉田 喜一 日 本	1:46.0 早 大	3:55.8 日 本	8:51.5 日 本	3:20.8 日 本
3:01.9 前畑 秀子 日 本	6:37.6 前畑 秀子 日 本	39.0 伊藤 さとし 中泉女	1:25.1 横田 みさを 日 本	3:10.4 横田 みさを 京 武	2:15.0 名古屋	4:58.1 日 本		4:13.4 中 部
2:44.9 小池 禮三 沼 商	5:56.4 藤垣 亮太郎 茨木中	32.6 片山 兼吉 濱一 中	1:11.0 兒島 泰彦 修道中	2:35.2 吉田 喜一 佐伯中	1:48.6 東部中		9:25.4 西部中	3:35.0 和歌山縣
3:12.4 前畑 秀子 楯山女		39.0 伊藤 さとし 中泉女	1:25.1 横田 みさを 同志女		2:15.0 名古屋	5:10.2 中部女子中		4:19.1 淑徳女
3:27.3 岡野 信三 和歌山		40.3 榎谷 周二 和歌山	1:32.4 木部 俊之 靜 浦		2:22.8 (麻里布) 廣 島			
3:42.3 岡村 千恵子 和歌山		44.8 笠松 敬子 和歌山	1:41.0 笠松 敬子 和歌山		2:43.2 (品川原) 東 京			
3:04.4 鈴木 重一 横 濱		36.4 川口 清 靜 浦	1:19.1 藤井 敬次郎 濱 名			4:57.4 (村瀬) 濱 名		
3:29.0 有川 愛子 和歌山		42.8 大前 フジ子 和歌山	1:36.9 大前 フジ子 和歌山		2:29.6 (妙寺) 和歌山			

1940 年度 男子 競泳 廿 傑 表

白山源三郎

昭和十五年度廿傑に就て

男子競泳について見るに第一位が昨年に比して著しく下つて居る。50米自由型の田口、400米自由型の宮本、100米背泳の吉田の三つだけが例外で孰れも僅かに十分の二秒宛昨年的一位よりよい記録を出したに過ぎず、其々は昨年より下つて居り、其差が甚だしい、二十傑の平均に於ても同様全般的に昨年に比し下つて居る十三種目中、1500米、50米背泳、及び200米リレーの三種目を除いて全部下落である。唯割合に其差は大きくない、殊に第廿位を見ると、十三種目中、上つたもの又は同等のもの八種目で、下落して居るもの五種目に過ぎない。

之を通觀するに、一般的に低調と云ふことは免れないが、刺戟がなく、目標がなかつた爲に第一人者選手が今一息無理をして飛切りのタイムを出す機会がなかつた、其結果、全般的にも低調と見えたのであるが、全體の水準としては、其割に下つて居らず、選手の數と質に於て寧ろ相當の充實を示して居ると云へる。

女子に於ては十種目中、第一位の記録の上つた種目四、同等のもの一つ、下つたもの五、第廿位の記録も殆ど同様で上つたもの五つ、同等のもの一つ、下つたもの四つと云ふ結果を現して居つて其差も大きくないから昨年と殆ど變化なしと云へる。然るに平均記録について見ると十種目中、昨年よりよくなつたもの七種目、悪くなつたものは50、100、及び300米混繼泳の三種に過ぎない、即ち記録的には特に進境を見せないが、廿傑迄に入り得る一流選手の實力が全般的に向上したことを物語つて居る。全國女子中等學校選手權創設以來充實向上を示して居る傾向が本年度に於ても引續いて現れて居ることを知り得る譯である。

男子中等學校十傑に付いて云へば素晴らしい成績で、我國水泳界の爲殊に其將來の爲に甚だ心強いものがある。即ち十一種目中(1500米には前年との比較がないから之を除いて)昨年より劣つて居るのは第一位の記録に於て三つ、第十位の記録に於て二つ、同等のもの一つ、全體の平均に於ては僅かに一つあるのみで之を除く殆ど全てに於て昨年より進歩を示して居るのである。

其躍進を喜ぶと共に、假令、第一線選手に頽勢の見ゆるものあるとするも、之に取つて代る中等選手の今後の指導に誤る所なくば、水泳日本の將來は安泰であるとの自信を強めることが出来る。

50米自由型本年の成績を見ると、本年度競技會に此種目が少なかつた爲に平均が下つた事が判る。昨年度第一位の新井の他遊佐、宮崎など平均を上げる選手が游いで居ない。從而、俄に全體の實力が低下したとは云ひ難い。表のトップに田口の名を見出すことは愉快である。殆ど名を忘れかけて居る所へ突如として神宮競技大會實業團に現れて、新記録を出してサツト引上げて行つた所鮮かであつた。更に古い所が高石が十四位に這入つて居るものも愉快である。流石に50米だけに中等學校選手が一人も入つて居ない。

100米に一分以内が三人しかないのは淋しい。遊佐の遠征に於けるカムバックは心持よかつたが、新井殊に佐々木の伸び悩みは残念である。變り種は、50米同様田口の六位、背泳の吉田の七位、長距離の寺田が轉向しての第二十位などである。

200、400は今年は宮本の獨り舞臺、此選手はドツシリとした感じを與へるので心強い。太田、伊藤、小柳の中京商業團が200で揃つて優位を占めて居るのは偉い。400、800で天野の不振、津田の躍進が目立つ、400に兎に角之だけ選手が居ることは、世界無比で、心強い。1500が昨年より進歩し、21分では殆ど廿傑に入る餘地がないのは愉快である。之亦申す迄もなく何れの國と云へども遠く及ばない所である。

平泳では、葉室に100米のよい記録なく第一線には此外大浦だけで淋しい、中等選手だつた田畑、現に中等選手たる藤垣、鈴木等が上位に来て居るが記録的にはまだ將來のものと云はねばならん。一般に上位のタイムの悪いことは脱れない。

平泳に引換へ背泳では、兒島、吉田、谷口が揃つて最上位に位して居て順當であるが、之に續くものが少し段がつくので平均は矢張稍悪い、濱一中藤井以下中等選手が延びて来て平均をグツト上げねばならん。(終り)

50 米 自由 形

- | | | | | | | | | | |
|---------------|------|----|------|-------|---------------|------|----|------|-------|
| 1. 田口 正治 満洲電業 | 26:2 | 神宮 | 9.23 | 神宮 實業 | 2. 佐々木 猛 日 大 | 26:8 | 神宮 | 9.15 | 日本 學生 |
| | | | | | 3. 本田 武次 立 大 | 27:4 | 神宮 | 9.14 | 日本 學生 |
| | | | | | 4. 長谷川 黄一 早 大 | 27:4 | 神宮 | 9.14 | 日本 學生 |

5. 壺田 重三 早大 27:8 神宮 9.14 日本學生
6. 大崎 定兼 立大 27:8 神宮 9.14 日本學生
7. 林田 睦夫 日大 28:0 神宮 9.15 日本學生
8. 高尾 龍實 慶大 28:0 神宮 9.14 日本學生
9. 山下 秀關 學 28:0 寶塚 9.8 關西學生
10. 富樫 誠助 昭和製鋼 28:0 神宮 9.23 神宮實業

十傑平均 今年度 27:54 昨年度 27:12

11. 太田 忠勝 立大 28:0 神宮 9.14 日本學生
12. 小野 四郎 早大 28:0 神宮 9.14 日本學生
13. 庄田 俊治 關學 28:0 神宮 9.14 日本學生
14. 高石 勝男 大阪製鋼 28:2 寶塚 8.25 大阪實業
15. 兒島 武彦 高松高商 28:2 神宮 9.14 日本學生
16. 阪本 响一 立大 28:2 神宮 9.14 日本學生
17. 堀 泰一郎 慶大 28:2 神宮 9.14 日本學生
18. 柴原 恒雄 橫濱ゴム 28:2 神宮 9.23 神宮實業
19. 吉田 實關 大 28:2 寶塚 9.8 關西學生
20. 中川 要 川崎重工 28:4 神宮 9.22 神宮實業

廿傑平均 今年度 27:85 昨年度 27:63

昨年度第一位 新井 茂雄(立大) 26:4

第十位 吉田 實(關大) 28:0

第廿位 瀧石 昂三郎(名高商) 28:2

100米自由形

1. 遊佐 正憲 日本 58:4 グアナバラ 3.3 招待會
2. 新井 茂雄 立大 58:8 神宮 8.17 選手權
3. 佐々木 猛 日大 59:6 神宮 9.14 日本學生
4. 本田 武次 立大 60:8 神宮 9.15 日本學生
5. 牧野 兵庫 日大 61:2 神宮 8.17 選手權
6. 田口 正治 滿洲電業 61:2 神宮 9.23 神宮實業
7. 吉田 喜一 早大 61:4 神宮 6.9 早慶對抗
8. 杉田 芳郎 早大 61:6 神宮 9.15 日本學生
9. 上藤 憲三 廣島 61:6 神宮 9.22 神宮中等
10. 小柳 清志 中京商 61:8 神宮 8.18 選手權

十傑平均 今年度 60:64 昨年度 60:69

11. 平野 亮平 臺北商 61:8 臺北 6.16 臺北支部
12. 伊藤 輝 中京商 61:8 振甫 9.17 神宮愛知
13. 大崎 定兼 立大 62:0 廣二中 7.21 廣島豫選
14. 林田 睦夫 日大 62:0 福岡 7.28 福岡選抜
15. 杉浦 重雄 稻泳會 62:0 廣二中 7.21 廣島豫選
16. 太田 忠勝 立大 62:2 神宮 9.14 日本學生
17. 壺田 重三 早大 62:4 甲子園 6.23 早關對抗
18. 吉田 實關 大 62:4 寶塚 9.8 關西學生
19. 小倉彌太郎 和歌商 62:6 甲子園 8.13 日本中等
20. 寺田 登 慶大 62:6 神宮 9.14 日本學生

廿傑平均 今年度 61:41 昨年度 61:40

昨年度第一位 新井 茂雄(立大) 57:8

第十位 吉田 喜一(早大) 61:6

第廿位 白山 勝三(難中) 62:6

200米自由形

1. 宮本 茂 早大 2:13:8 神宮 9.15 日本學生
2. 新井 茂雄 立大 2:14:0 神宮 9.15 日本學生
3. 後藤 龍實 明大 2:16:8 神宮 9.14 日本學生
4. 遊佐 正憲 日本 2:17:5 ゼルマニヤ 3.10 招待會
5. 牧野 兵庫 日大 2:17:6 神宮 9.15 日本學生
6. 太田 光雄 中京商 2:18:4 神宮 8.19 選手權
7. 鷺谷 光明 日大 2:18:6 神宮 8.19 選手權
8. 越戸 優一 櫻泳會 2:18:7 大濠 7.28 福岡選抜
9. 杉田 芳郎 稻泳會 2:18:8 神宮 8.19 選手權
10. 佐々木 猛 日大 2:18:8 神宮 6.16 三大學

十傑平均 今年度 2:17:30 昨年度 2:15:84

11. 伊藤 輝 中京商 2:19:0 振甫 9.7 神宮愛知
12. 河村 甚平 名古屋商 2:19:2 振甫 9.7 神宮愛知
13. 白山 勝三 立大 2:19:8 神宮 9.14 日本學生
14. 小柳 清志 中京商 2:20:2 振甫 9.1 中部日本
15. 中澤 脩 慶大 2:20:4 神宮 6.9 早慶對抗
16. 園 盛保 濱一中 2:20:8 大濱 9.1 神宮靜岡
17. 松山 正一 明大 2:20:8 神宮 9.14 日本學生
18. 本田 武次 立大 2:21:0 神宮 8.2 關東豫選
19. 杉浦 重雄 稻泳會 2:21:0 廣二中 7.21 廣島豫選
20. 長尾 克己 高知商 2:21:2 甲子園 8.4 中部中等

廿傑平均 今年度 2:18:82 昨年度 2:17:89

昨年度第一位 2:09:6 新井 茂雄(立大)

第十位 2:18:0 島本 信美(慶大)

第廿位 2:21:2 馬場 止(日大)

400米自由形

1. 宮本 茂 早大 4:47.0 神宮 9.15 日本學生
2. 田中 英作 稻泳會 4:50.6 神宮 8.18 選手權
3. 津田 國男 日大 4:51.6 神宮 9.15 日本學生
4. 本間 俊夫 立大 4:54.0 神宮 6.16 三大學對抗
5. 後藤 龍實 明大 4:54.2 神宮 9.14 日本學生
6. 宇田 守榮 稻泳會 4:55.6 神宮 8.18 選手權
7. 天野 富勝 日大 4:56.8 神宮 6.16 三大學對抗
8. 松山 正一 明大 4:57.0 神宮 9.15 日本學生
9. 鷺谷 光明 日大 4:57.8 神宮 8.17 選手權
10. 河村 甚平 名古屋商 4:59.8 振甫 9.15 名古屋市民

十傑平均 今年度 4:54.44 昨年度 4:51.60

11. 酒井 孝一 岐阜商 5:00.8 甲子園 8.13 日本中等
12. 竹内 定夫 東邦商 5:01.2 神宮 8.17 選手權
13. 枝元 武男 稻泳會 5:01.4 神宮 8.17 選手權
14. 片山 崇 慶大 5:02.0 神宮 9.14 日本學生

15. 栗原 徹 日大 5:02.2 神宮 9.14 日本學生
16. 越戶 優一 日大 5:02.4 神宮 8.17 選手權
17. 太田 光雄 中京商 5:02.4 甲子園 8.4 中部中等
18. 村山 修一 和歌山 5:02.6 神宮 9.22 神宮中等
19. 鶴藤 俊平 立大 5:02.8 神宮 6.16 三大學對抗
20. 長尾 克巳 高知商 5:05.4 甲子園 8.3 中部中等

廿傑平均 今年度 4:58.38 昨年度 4:56.86

昨年度第一位 宮本 茂(早大專) 4:47.2

第十位 宇田 守榮(稻泳會) 4:55.8

第廿位 淺野 俊雄(中京商) 5:05.2

800 米 自由形

1. 津田 國男 日大 10:11.0 神宮 9.15 日本學生
2. 天野 富勝 日大 10:19.4 神宮 6.16 三大學對抗
3. 本間 俊夫 立大 10:21.2 神宮 9.15 日本學生
4. 栗原 徹 日大 10:23.4 神宮 9.15 日本學生
5. 松山 正一 明大 10:25.6 神宮 6.16 三大學對抗
6. 酒井 孝一 岐阜商 10:25.6 甲子園 8.13 日本中等
7. 片山 崇慶 大 10:25.8 神宮 9.15 日本學生
8. 竹內 定夫 東邦商 10:28.6 振甫 9.7 神宮愛知
9. 宇田 守榮 早大 10:32.4 神宮 9.14 日本學生
10. 田中 英作 早大 10:36.8 甲子園 6.23 早關對抗
11. 長谷川黃一 早大 10:37.2 甲子園 6.23 早關對抗
12. 田村 岩夫 關學 10:39.0 神宮 9.14 日本學生
13. 村山 修一 和歌山 10:39.0 神宮 9.22 神宮中等
14. 山下 諭 廣島 10:42.0 神宮 9.22 神宮中等
15. 越戶 優一 日大 10:44.0 神宮 6.16 三大學對抗
16. 伊藤 憲利 櫻泳會 10:44.7 大濠 7.28 福岡選拔
17. 岩切 主 立大 10:45.0 神宮 6.16 三大學對抗
18. 清原 創 慶大 10:46.2 神宮 9.14 日本學生
19. 稻富 利雄 日大 10:47.4 神宮 9.14 日本學生
20. 岩田 務 立大豫 10:51.2 神宮 7.28 全國高專

廿傑平均 今年度 10:34.27 昨年度 10:29.92

昨年度第一位 天野 富勝(日大) 10:01.6

第十位 岩切 主(立大豫) 10:34.8

第廿位 酒井 孝一(岐阜商) 10:43.5

1500 米 自由形

1. 津田 國男 日大 19:31.6 神宮 8.19 選手權
2. 田中 英作 稻泳會 19:31.6 神宮 8.19 選手權
3. 本間 俊夫 立大 19:41.8 甲子園 6.23 四大學對抗
4. 酒井 孝一 岐阜商 19:51.6 神宮 8.19 選手權
5. 竹內 定夫 東邦商 19:56.2 振甫 9.1 中部日本
6. 村山 修一 伊都中 19:57.2 甲子園 8.13 日本中等
7. 越戶 優一 日大 20:02.8 神宮 8.19 選手權
8. 宇田 守榮 早大 20:08.6 神宮 6.9 早慶對抗

9. 片山 崇慶 大 20:17.6 神宮 6.9 早慶對抗
 10. 天野 富勝 日大 20:20.0 甲子園 6.23 四大學對抗
- 十傑平均 今年度 19:55.92 昨年度 19:54.62

11. 松山 正一 駿臺夕 20:30.2 神宮 8.18 選手權
12. 清原 創 三田水 20:34.8 神宮 8.18 選手權
13. 野並 傳 高知商 20:40.8 甲子園 8.3 中部中等
14. 田村 昌久 松山商 20:47.0 甲子園 8.3 中部中等
15. 安達 稔 駿臺夕 20:50.2 神宮 8.18 選手權
16. 淺野 俊雄 中京商 20:51.8 振甫 9.1 中部日本
17. 伊藤 憲利 日大 20:52.8 神宮 8.18 選手權
18. 川口不羈男 臺北高商 20:53.6 臺北 9.8 臺灣選手權
19. 藤村 恭一 逗子開成 20:54.4 甲子園 8.13 日本中等
20. 黑澤佑一郎 灘中 21:01.0 甲子園 7.28 兵庫豫選

廿傑平均 今年度 20:21.79 昨年度 20:28.74

昨年度第一位 天野 富勝(日大) 19:21.8

第十位 淺野 俊雄(中京商) 20:23.6

第廿位 池邊 俊雄(熊本商) 21:45.7

100 米 平 泳

1. 葉室 鐵夫 日本 1:14.6 ゼルマニヤ 3.10 招待會
2. 大浦誠一郎 立大 1:16.0 神宮 9.15 日本學生
3. 田畑 三郎 早大 1:16.2 神宮 9.15 日本學生
4. 古川 敏 早大 1:16.6 神宮 9.15 日本學生
5. 大林 嗣生 早大 1:17.2 神宮 9.14 日本學生
6. 岩崎 桑郎 慶大 1:17.8 神宮 9.14 日本學生
7. 吉村喜代造 日大 1:18.2 大濠 7.28 福岡選拔
8. 鈴木 重一 東邦商 1:18.4 振甫 9.7 神宮愛知
9. 葉室 貞男 日大 1:18.6 神宮 9.14 日本學生
10. 上山 茂穗 立大 1:18.8 神宮 9.14 日本學生
11. 吉田 三郎 早大 1:18.8 神宮 9.14 日本學生
12. 森田 正真 日大 1:19.0 神宮 9.14 日本學生
13. 深野 富雄 稻泳會 1:19.4 神宮 8.17 選手權
14. 苗村 六郎 京大 1:19.6 寶塚 9.8 關西學生
15. 吉田 勇 川泳會 1:20.2 甲子園 7.28 兵庫豫選
16. 清水 惠三 同大 1:20.4 寶塚 9.8 關西學生
17. 吉永 清 灘中 1:20.4 甲子園 7.28 兵庫豫選
18. 小幡 令二 濱一中 1:20.8 神宮 8.17 選手權
19. 石田 良平 三田水 1:21.0 神宮 8.17 選手權
20. 中村平三郎 吳海兵團 1:21.0 神宮 8.17 選手權

十傑平均 今年度 1:17.18 昨年度 1:16.76

昨年度第一位 葉室 鐵夫(日大) 1:12.4

第十位 上山 茂穗(立大) 1:18.8

第廿位 尾崎 和也(東商大) 1:21.2

200 米 平 泳

1. 葉室 鐵夫 日大 2:43.4 神宮 8.19 選手權

2.	大浦誠一郎	立大	2:43.8	立大	6.10	立大記録會
3.	吉村喜代造	日大	2:47.2	神宮	8.2	關東豫選
4.	藤垣亮太郎	茨木中	2:47.8	神宮	8.19	選手權
5.	鈴木重一	東邦商	2:50.4	振甫	9.1	中部日本
6.	堤愛治	名古屋商	2:51.4	振甫	9.1	中部日本
7.	古川敏	早大	2:52.0	神宮	9.14	日本學生
8.	田畑三郎	早大	2:52.8	神宮	9.14	日本學生
9.	田口實	日大	2:55.0	神宮	6.16	三大學對抗
10.	石原義輝	中京商	2:55.2	甲子園	8.4	中部中等
十傑平均 今年度 2:49.90 昨年度 2:49.52						
11.	大林嗣生	早大	2:55.4	神宮	6.9	早慶對抗
12.	岩崎彙郎	慶大	2:55.4	神宮	9.14	日本學生
13.	吉田實	川崎重工	2:55.8	神宮	9.23	神宮實業
14.	田島俊雄	和歌商	2:56.0	神宮	8.19	選手權
15.	中村平三郎	吳海兵團	2:56.0	神宮	8.18	選手權
16.	小幡令二	濱一中	2:56.2	濱一中	6.16	東海中學
17.	杉山佑二	沼津中	2:56.8	神宮	8.4	東部中等
18.	箕輪嘉一	靜岡商	2:57.2	大濱	9.1	神宮靜岡
19.	苗村六郎	京大	2:57.2	寶塚	9.8	關西學生
20.	竹林寺文雄	廣島	2:57.8	大濠	8.28	西日本對縣
廿傑平均 今年度 2:53.14 昨年度 2:52.82						
昨年度第一位 葉室鐵夫(日大) 2:40.4						
第十位 吉村喜代造(岸和田中) 2:54.4						
第廿位 三輪春雄(早大) 2:57.0						

50 米 背 泳

1.	兒島泰彥	三田泳	:30.8	神宮	8.18	選手權
2.	吉田喜一	早大	:31.2	神宮	9.15	日本學生
3.	谷口利弘	日大	:31.8	神宮	9.15	日本學生
4.	中野太郎	早大	:31.8	神宮	8.17	選手權
5.	平賀孟	立大	:32.2	神宮	9.14	日本學生
6.	鳥居高雄	和高商	:32.2	寶塚	9.8	關西學生
7.	河野通廣	日大	:32.4	神宮	9.15	日本學生
8.	奧田精一郎	早大	:32.6	神宮	9.14	日本學生
9.	阪本响一	立大	:32.8	神宮	9.14	日本學生
10.	門屋桂	立大	:32.8	神宮	9.14	日本學生
十傑平均 今年度 :32.06 昨年度 :32.18						
11.	藤井敬次郎	濱一中	:33.0	神宮	8.17	選手權
12.	大野木弑	駿臺夕	:33.0	神宮	8.18	選手權
13.	本間竹志	文理大	:33.0	神宮	9.8	關東學生
14.	江口正人	關學	:33.4	神宮	9.14	日本學生
15.	谷口五郎	稻泳會	:33.4	神宮	8.17	選手權
16.	目代勝巳	川崎水泳	:33.4	甲子園	7.28	兵庫豫選
17.	飯田旭明	大	:33.6	神宮	9.14	日本學生
18.	服部義治	三菱航空	:34.0	清洲	9.8	加盟團對抗
19.	山本正尊	立大	:34.0	神宮	9.14	日本學生
20.	野島宏	濱松農蠶	:34.2	神宮	8.17	選手權

廿傑平均 今年度 :32.78 昨年度 :33.11

昨年度第一位 兒島泰彥(慶大) :30.6
第十位 門屋桂(立大) :33.2
第廿位 田原照雄(高松高商) :34.6

100 米 皆 泳

1.	吉田喜一	早大	1:08.0	神宮	9.15	日本學生
2.	兒島泰彥	慶大	1:08.8	神宮	8.19	日本選手權
3.	谷口利弘	日大	1:09.8	神宮	6.16	三大學對抗
4.	中野太郎	稻泳會	1:11.4	神宮	8.19	日本選手權
5.	平賀孟	立大	1:12.6	神宮	9.15	日本學生
6.	河野道廣	日大	1:13.0	神宮	8.19	日大選手權
7.	本間竹志	文理大	1:13.0	神宮	9.8	關東學生
8.	藤井敬次郎	濱一中	1:13.2	神宮	9.19	日本選手權
9.	大野木弑	駿臺夕	1:13.2	神宮	8.18	日本選手權
10.	西野泰正	高知城商	1:13.2	神宮	9.22	神宮中等
十傑平均 今年度 1:11.2 昨年度 1:11.80						
11.	松本進	昭和製鋼	1:13.2	神宮	9.23	神宮實業團
12.	目代勝巳	川崎水泳	1:13.6	甲子園	7.28	兵庫豫選
13.	谷口五郎	稻泳會	1:13.8	神宮	8.19	日本選手權
14.	野島宏	濱農蠶	1:14.2	甲子園	8.13	日本中等
15.	稻垣達夫	名古屋商	1:14.4	振甫	9.7	神宮愛知豫
16.	門屋桂	立大	1:15.0	神宮	9.15	日本學生
17.	飯田旭明	大	1:15.0	神宮	9.14	日本學生
18.	江口正人	關學	1:15.0	神宮	9.14	日本學生
19.	坂本响一	立大	1:15.4	神宮	6.16	三大子對抗
20.	幸村甫	日大	1:15.4	神宮	6.16	三大子對抗
廿傑平均 今年度 1:13.06 昨年度 1:12.89						
昨年度第一位 兒島泰彥(慶大) 1:08.2						
第十位 松本進(昭和製鋼) 1:14.0						
第廿位 目代勝巳(川崎造船) 1:15.4						

200 米 繼 泳

1.	新井・本田 太田・平賀	立大	1:48.6	神宮	9.15	日本學生
2.	牧野・佐々木 河野・林田	日大	1:49.6	神宮	9.15	日本學生
3.	牧野・佐々木 濱田・林田	櫻泳會	1:49.8	大濠	7.28	福岡選權
4.	長谷川・壺田 小野・吉田	早大	1:50.0	神宮	9.15	日本學生
5.	高尾・堀 寺田・兒島	慶大	1:50.4	神宮	9.15	日本學生
6.	吉田・小野 中野・壺田	早大	1:51.4	甲子園	6.23	早關對抗
7.	兒島・池知 船倉・山下	高松高商	1:52.2	神宮	9.14	日本學生
8.	伊藤・太田 武智・小柳	中京商	1:52.6	甲子園	8.3	中部中等
9.	米本・小出 山藤・中島	東大	1:53.0	神宮	9.15	日本學生
10.	矢住・三谷 森本・庄田	關學	1:53.6	甲子園	6.23	早關對抗
十傑平均 今年度 1:51.12 昨年度 1:52.12						

11.	石川・柴原 早川・遊佐	橫濱コム	1:54.0	神宮	9.21	神宮實業
12.	武智・伊藤 島田・小柳	中京商	1:54.2	濱一中	6.16	東海中等
13.	鳥居・田中 香川・吉田	大阪	1:55.0	眞田山	6.16	東亞關西
14.	平野・佐々木 杉本・宮地	臺北商	1:55.0	臺北	9.7	臺灣選手權
15.	矢作・大崎 氏原・小松	城東商	1:55.2	甲子園	8.4	中部中等
16.	平野・佐々木 前田・宮地	臺北商	1:55.4	臺北	6.16	臺北支部
17.	後藤・大杉 松山・豐島	明大	1:56.0	神宮	9.14	日本學生
18.	佐藤・高須 中川・淺野	川崎重工	1:56.2	神宮	9.23	神宮實業
19.	須貝・宇井 岡田・米谷	京都	1:56.4	眞田山	6.16	東亞關西
20.	西野・平野 山下・正原	廣一中	1:56.6	廣二中	9.29	廣島縣
廿傑平均		今年度	1:53.26	昨年度	1:54.08	
昨年度第一位		立		大	1:48.0	
第十位		關		學	1:54.8	
第廿位		臺北商			1:57.0	

800米 繼 泳

1.	宮本・宇田 杉田・吉田	早大	9:05.0	神宮	9.15	日本學生
2.	佐々木・津田 牧野・越戸	日大	9:09.0	神宮	9.15	日本學生
3.	新井・本間 片山・本田	立大	9:13.8	神宮	9.15	日本學生
4.	宮本・杉田 田中・吉田	早大	9:15.0	神宮	6.9	早慶對抗
5.	新井・本間 本田・鶴藤	立大	9:15.4	神宮	6.11	三大學對抗
6.	津田・佐々木 越戸・天野	日大	9:26.8	神宮	6.16	三大學對抗
7.	伊藤・太田 竹内・河村	愛知	9:28.0	神宮	9.22	神宮中等
8.	松山・豐島 大杉・後藤	明大	9:31.0	神宮	9.15	日本學生
9.	島本・寺田 中澤・片山	慶大	9:32.0	神宮	9.15	日本學生
10.	小柳・淺野 伊藤・武智	中京商	9:36.6	甲子園	8.13	日本中等
十傑平均		今年度	9:21.26	昨年度	9:15.57	
11.	松山・大杉 安藤・後藤	明大	9:41.6	神宮	6.16	三大學對抗
12.	川口・安藤 園・加藤	靜岡	9:45.0	神宮	9.22	神宮中等
13.	岩田・白山 太田・本田	立大豫	9:45.2	神宮	7.28	全國高專
14.	山下・中野 上藤・正原	廣島	9:46.4	神宮	9.22	神宮中等
15.	西本・山尾 山下・船倉	高松高商	9:48.4	寶塚	9.8	關西學生
16.	大崎・矢作 野並・長尾	高知商	9:49.0	神宮	9.22	神宮中等
17.	虎野・森本 平野・田村	關學	9:49.2	寶塚	9.8	關西學生

18.	伊藤・太田 淺野・小柳	中京商	9:50.8	濱一中	6.16	東海中等
19.	太田・伊藤 武智・小柳	中京商	9:51.2	振甫	7.21	名古屋豫選
20.	村山・愛須 川合・小倉	和歌山	9:52.6	神宮	9.22	神宮中等
廿傑平均		今年度	9:34.60	昨年度	9:28.34	
昨年度第一位		早		大	9:02.2	
第十位		臺		灣	9:23.1	
第廿位		大		分	9:55.2	

300米 混 繼 泳

1.	阪本・大浦 新井	立大	3:27.0	神宮	6.16	三大學對抗
2.	谷口・森田 佐々木	日大	3:28.8	神宮	6.16	三大學對抗
3.	稻垣・鈴木 小柳	愛知	3:35.2	神宮	9.22	神宮中等
4.	稻垣・堤 河村	名古屋商	3:36.6	振甫	9.15	名古屋市民
5.	目代・吉田 中川	川崎重工	3:37.8	神宮	9.23	神宮實業
6.	藤井・小幡 園	靜岡	3:38.0	神宮	9.22	神宮中等
7.	松本・山下 富樫	昭和製鋼	3:39.0	神宮	9.22	神宮實業
8.	大谷・田島 小倉	和歌山	3:40.8	神宮	9.22	神宮中等
9.	山田・石原 小柳	中京商	3:43.6	振甫	9.15	名古屋市民
10.	西野・南守 氏原	高知	3:44.0	神宮	9.22	神宮中等
十傑平均		今年度	3:37.08	昨年度	3:31.28	
11.	三保・竹林寺 上藤	廣島	3:44.6	神宮	9.22	神宮中等
12.	淵田・池上 田中	八幡製鐵	3:44.8	神宮	9.23	神宮實業
13.	黑佐・野村 古木	大分	3:44.8	神宮	9.22	神宮中等
14.	廣部・辻本 平野	臺灣	3:45.0	神宮	9.21	神宮中等
15.	荒井・吉田 淺野	神戶	3:45.0	神宮	9.21	神宮青年
16.	宮地・近藤 平野	臺北商	3:46.1	臺北	9.8	臺灣選手權
17.	杉浦・伊藤 武智	中京商	3:46.6	振甫	9.15	名古屋市民
18.	杉山(芳)・杉 山(佐)・安藤	沼津中	3:47.2	大濱	9.1	神宮靜岡
19.	赤峰・野村 古木	大分	3:47.4	神宮	9.21	神宮中等
20.	伊藤・藤垣 近藤	大阪	3:48.8	神宮	9.21	神宮中等
廿傑平均		今年度	3:41.55	昨年度	3:37.55	
昨年度第一位		日		大	3:22.2	
第十位		日大		豫	3:38.8	
第廿位		高知			3:46.4	

男子中等學校競泳十傑表

100米自由形

1. 上藤 憲三 三次中 61.6 神宮 9.22 神宮中等
2. 小柳 清志 中京商 61.8 神宮 8.18 選手權
3. 平野 亮平 臺北商 61.8 臺北 6.16 臺北支部
4. 伊藤 輝 中京商 61.8 振甫 9.17 神宮愛知
5. 小倉彌太郎 和商 62.6 甲子園 9.13 日本中等
6. 園 盛保 濱一中 62.8 神宮 9.22 日本中等
7. 武智 吉作 中京商 63.0 振甫 9.1 中部日本
8. 倉地 勤也 小牧中 63.2 振甫 9.1 中部日本
9. 安藤 博夫 沼津中 63.4 甲子園 8.13 日本中等
10. 古木 惣一 臼杵中 63.4 神宮 9.21 神宮中等

十傑平均 今年度 62.54 昨年度 62.77
 昨年度第一位 牧野 兵庫(伊都中) 61.4
 第十位 高須 博(濱二中) 64.0

200米自由形

1. 太田 光雄 中高商 2:18.4 神宮 8.19 選手權
2. 伊藤 輝 中京商 2:19.0 振甫 9.7 神宮愛知
3. 河村 甚平 名古屋商 2:19.2 振甫 9.7 神宮愛知
4. 小柳 清志 中京商 2:20.2 振甫 9.1 中部日本
5. 園 盛保 濱一中 2:20.8 大濱 9.1 神宮靜岡
6. 長尾 克己 東知商 2:21.2 甲子園 8.4 中部中等
7. 小倉彌太郎 和商 2:22.0 甲子園 8.4 中部中等
8. 竹內 定夫 東邦商 2:22.0 振甫 9.8 加盟團對抗
9. 古木 惣一 臼杵中 2:22.6 甲子園 8.13 日本中等
10. 安藤 博夫 沼津中 2:22.6 大濱 9.1 神宮靜岡

十傑平均 今年度 2:20.80 昨年度 2:21.50
 昨年度第一位 平野 亮平(臺北商) 2:18.7
 第十位 河村 甚平(名古屋商) 2:23.0

400米自由形

1. 河村 甚平 名古屋商 4:59.8 振甫 9.15 名古屋市民
2. 酒井 孝一 岐阜商 5:00.8 甲子園 8.13 日本中等
3. 竹內 定夫 東邦商 5:01.2 神宮 8.17 選手權
4. 太田 光雄 中京商 5:02.4 甲子園 8.4 中部中等
5. 村山 修一 伊都中 5:02.6 神宮 9.22 神宮中等
6. 長尾 克己 高知商 5:05.4 甲子園 8.3 中部中等
7. 野並 傳 高知商 5:05.8 甲子園 8.3 中部中等
8. 古木 惣一 臼杵中 5:06.0 神宮 9.22 神宮中等
9. 秋永 修 廣島二中 5:10.4 甲子園 8.3 中等中等
10. 田井 昌久 松山商 5:12.0 甲子園 8.3 中部中等

十傑平均 今年度 5:04.64 昨年度 5:06.38

昨年度第一位 平野 亮平(臺北商) 5:01.2

第十位 黑澤 佑一郎(灘中) 5:08.8

1500米自由形

1. 酒井 孝一 岐阜商 19:51.6 神宮 8.19 選手權
2. 竹內 定夫 東邦商 19:56.2 振甫 9.1 中等日本
3. 村山 修一 伊都中 19:57.2 甲子園 8.13 日本中等
4. 野並 傳 高知商 20:40.8 甲子園 8.3 中部中等
5. 田村 昌久 松山商 20:47.0 甲子園 8.3 中部中等
6. 淺野 俊雄 中京商 20:51.8 振甫 9.1 中部日本
7. 藤村 恭一 逗子開成 20:54.4 甲子園 8.13 日本中等
8. 黑澤 佑一郎 灘中 21:01.0 甲子園 7.28 兵庫豫選
9. 山下 諭 廣島一中 21:07.0 大濠 8.28 西日本對縣
10. 川口 義和 沼津中 21:09.8 神宮 8.4 東部中等

十傑平均 今年度 20:37.18

昨年度ナシ

200米平泳

1. 藤垣亮太郎 茨木中 2:47.8 神宮 8.19 選手權
2. 鈴木 重一 東邦商 2:50.4 振甫 9.1 中部日本
3. 堤 愛治 名古屋商 2:51.4 振甫 9.1 中部日本
4. 石原 義輝 中京商 2:55.2 甲子園 8.4 中部中等
5. 田島 俊雄 和歌商 2:56.0 神宮 8.19 選手權
6. 小幡 令二 濱一中 2:56.2 濱一中 6.16 東海中等
7. 杉山 祐二 沼津中 2:56.8 神宮 8.4 東部中等
8. 箕輪 嘉一 靜商 2:57.2 大濱 9.1 神宮靜岡
9. 竹林寺文雄 修道中 2:57.8 大濠 8.28 西日本對縣
10. 沖原 德一 修館中 2:58.0 大濠 8.28 西日本對縣

十傑平均 今年度 2:94.68 昨年度 2:55.45

昨年度第一位 藤垣 亮太郎(茨木中) 2:51.2

第十位 尾鼻 松太郎(臺北中) 2:59.3

400米平泳

1. 藤垣亮太郎 茨木中 5:56.4 甲子園 8.3 中部中等
(日新)
2. 鈴木 重一 東邦商 6:08.2 甲子園 8.3 中部中等
3. 本村 秀正 札幌商 6:10.8 神宮 8.13 日本中等
4. 堤 愛治 名古屋商 6:13.0 甲子園 8.13 日本中等
5. 宮本 保夫 伊都中 6:15.0 甲子園 8.3 中部中等
6. 小幡 令二 濱一中 6:16.0 神宮 8.3 東部中等
7. 田島 俊雄 和歌商 6:16.0 甲子園 8.4 中部中等
8. 箕輪 嘉一 靜岡 6:17.0 神宮 8.4 東部中等

9. 福井 秀治 岸和田中 6:17.6 甲子園 8.3 中部中等
 10. 沖原 徳一 修道館中 6:18.0 大濠 8.4 西部中等
 十傑平均 今年度 6:12.80 昨年度 6:17.04
 昨年度第一位 藤垣 亮太郎 (茨木中) 5:58.4
 第十位 宮本 保夫 (伊都中) 6:26.2

100 米 背 泳

1. 藤井敬次郎 濱一中 1:13.2 神宮 8.19 選手權
 2. 西野 泰正 城東商 1:13.2 神宮 9.22 神宮中等
 3. 野島 宏 濱農蠶 1:14.2 甲子園 8.13 日本中等
 4. 稻垣 達夫 名古屋商 1:14.4 振甫 9.7 神宮愛知
 5. 福留 弘明 高知商 1:15.8 神宮 9.22 神宮中等
 6. 山田 又一 中京商 1:16.0 振甫 9.7 神宮愛知
 7. 赤峯 實 臼杵商 1:16.2 大濠 8.4 西部中等
 8. 杉浦重太郎 中京商 1:16.4 振甫 9.7 神宮愛知
 9. 杉山 芳文 沼津中 1:16.6 甲子園 8.12 日本中等
 10. 川口 清 沼津中 1:16.6 大濱 9.1 神宮静岡
 十傑平均 今年度 1:15.26 昨年度 1:15.93
 昨年度第一位 藤井 敬次郎 (濱松一中) 1:14.2
 第十位 西野 泰正 (城東商) 1:17.2

200 米 背 泳

1. 藤井敬次郎 濱一中 2:40.8 甲子園 8.13 日本中等
 2. 野島 宏 濱農蠶 2:43.8 甲子園 8.13 日本中等
 3. 西野 泰正 城東商 2:45.4 甲子園 8.13 日本中等
 4. 川口 清 沼津中 2:46.2 甲子園 8.13 日本中等
 5. 赤峰 實 臼杵商 2:46.6 甲子園 8.12 日本中等
 6. 杉山 芳文 沼津中 2:47.6 甲子園 8.13 日本中等
 7. 稻垣 達夫 名古屋商 2:48.0 甲子園 8.13 日本中等
 8. 杉浦重太郎 中京商 2:49.6 甲子園 8.12 日本中等
 9. 霜田千三郎 長野工 2:50.6 神宮 8.3 東部中等
 10. 黒佐 年明 佐伯中 2:51.0 大濠 8.4 西部中等
 十傑平均 今年度 2:46.96 昨年度 2:46.46
 昨年度第一位 笹原 利郎 (臺北商) 2:40.5
 第十位 山下 三喜男 (沼津商) 2:49.0

200 米 繼 泳

1. 伊藤・武智 中京商 1:52.6 甲子園 8.13 日本中等
 2. 太田・小柳 中京商 1:54.2 濱一中 6.16 東海中等
 3. 武智・伊藤 中京商 1:55.0 臺北 9.7 臺灣選手權
 4. 島田・小柳 臺北商 1:55.2 臺北 9.7 臺灣選手權
 5. 平野・佐々木 城東商 1:55.2 甲子園 8.3 中部中等
 6. 杉本・宮地 城東商 1:55.2 甲子園 8.3 中部中等
 7. 矢作・大崎 城東商 1:55.2 甲子園 8.3 中部中等
 8. 氏原・小松 城東商 1:55.2 甲子園 8.3 中部中等
 9. 平野・佐々木 臺北商 1:55.4 臺北 6.16 臺北支部
 10. 前田・宮地 臺北商 1:55.4 臺北 6.16 臺北支部
 1. 西野・平野 廣一中 1:56.6 廣二中 9.29 廣島縣
 2. 山下・正原 廣一中 1:56.6 廣二中 9.29 廣島縣
 3. 安木・岩元 加治木中 1:57.0 大濠 8.4 西部中等
 4. 津曲・米永 加治木中 1:57.0 大濠 8.4 西部中等
 5. 古木・酒井 臼杵中 1:58.0 大濠 8.4 西部中等
 6. 坂田・岡田 臼杵中 1:58.0 大濠 8.4 西部中等

9. 川合・村山 伊都中 1:58.2 甲子園 8.4 中部中等
 10. 北本・清本 伊都中 1:58.2 甲子園 8.4 中部中等
 藤井・田收 濱一中 1:58.2 大濠 9.1 神宮静岡
 徳増・園 濱一中 1:58.2 大濠 9.1 神宮静岡
 十傑平均 今年度 1:56.02 昨年度 1:56.62
 昨年度第一位 伊都 中等 1:53.8
 第十位 高知 商業 1:58.2

800 米 繼 泳

1. 伊藤・太田 愛知 9:28.0 神宮 9.22 神宮中等
 2. 竹内・河村 愛知 9:28.0 神宮 9.22 神宮中等
 3. 小柳・淺野 中京商 9:36.6 甲子園 8.13 日本中等
 4. 伊藤・武智 中京商 9:36.6 甲子園 8.13 日本中等
 5. 川口・安藤 静岡 9:45.0 神宮 9.22 神宮中等
 6. 園・加藤 静岡 9:45.0 神宮 9.22 神宮中等
 7. 山下・平野 廣島 9:46.4 神宮 9.22 神宮中等
 8. 上藤・正原 廣島 9:46.4 神宮 9.22 神宮中等
 9. 大崎・矢作 高知 9:49.0 神宮 9.22 神宮中等
 10. 野並・長尾 高知 9:49.0 神宮 9.22 神宮中等
 1. 伊藤・淺野 中京商 9:50.8 濱一中 6.16 東海中等
 2. 太田・小柳 中京商 9:50.8 濱一中 6.16 東海中等
 3. 村山・愛須 和歌山 9:52.6 神宮 9.22 神宮中等
 4. 川合・小倉 和歌山 9:52.6 神宮 9.22 神宮中等
 5. 中町・大野 高知商 9:53.6 甲子園 8.13 日本中等
 6. 野並・長尾 高知商 9:53.6 甲子園 8.13 日本中等
 7. 中村・大野 高知商 9:53.8 甲子園 8.4 中部中等
 8. 野並・國則 高知商 9:53.8 甲子園 8.4 中部中等
 9. 徳増・高林 濱一中 9:55.0 大濱 9.1 神宮静岡
 10. 藤井・園 濱一中 9:55.0 大濱 9.1 神宮静岡
 十傑平均 今年度 9:47.08 昨年度 9:50.62
 昨年度第一位 和歌山 9:35.0
 第十位 岐 阜 10:02.0

300 米 混 繼 泳

1. 稻垣・鈴木 愛知 3:35.2 神宮 9.22 神宮中等
 2. 小柳 愛知 3:35.2 神宮 9.22 神宮中等
 3. 稻垣・堤 名古屋商 3:36.6 振甫 9.15 名古屋市民
 4. 河村 名古屋商 3:36.6 振甫 9.15 名古屋市民
 5. 藤井・小幡 静岡 3:38.0 神宮 9.22 神宮中等
 6. 園 静岡 3:38.0 神宮 9.22 神宮中等
 7. 大谷・田島 和歌山 3:40.8 神宮 9.22 神宮中等
 8. 小倉 和歌山 3:40.8 神宮 9.22 神宮中等
 9. 山田・石原 中京商 3:43.6 振甫 9.15 名古屋市民
 10. 小柳 中京商 3:43.6 振甫 9.15 名古屋市民
 1. 西野・南 高知 3:44.0 神宮 9.22 神宮中等
 2. 氏原 高知 3:44.0 神宮 9.22 神宮中等
 3. 三保・竹林寺 廣島 3:44.6 神宮 9.22 神宮中等
 4. 上藤 廣島 3:44.6 神宮 9.22 神宮中等
 5. 黒佐・野村 大分 3:44.8 神宮 9.21 神宮中等
 6. 古木 大分 3:44.8 神宮 9.21 神宮中等
 7. 廣部・辻村 臺灣 3:45.0 神宮 9.21 神宮中等
 8. 平野 臺灣 3:45.0 神宮 9.21 神宮中等
 9. 宮地・近藤 臺北商 3:46.1 臺北 9.8 臺灣選手權
 10. 平野 臺北商 3:46.1 臺北 9.8 臺灣選手權
 十傑平均 今年度 3:41.87 昨年度 3:42.24
 昨年度第一位 和歌山 3:35.0
 第十位 臺北 商 3:46.6

女子競泳廿傑表

50米自由形

1. 安富磨瑳江 京二條 33.8 廣二中 8.25 日本女子中
2. 藤田 佳子 土佐女 34.0 廣二中 8.24 日本女子中
3. 江間 絢子 臺北女 34.5 臺北 6.16 臺北支部
4. 岩橋佐和子 椛山女 34.8 振甫 9.7 神宮愛知
5. 進藤 玲子 東府八女 35.0 廣二中 8.24 日本女子中
6. 吉田ミチ子 吳精華女 35.0 廣二中 9.8 西日本女子
7. 野上 恭香 高雄女 35.1 臺北 9.8 臺灣選手權
8. 佐野のぶ子 東府四女 35.4 廣二中 8.25 日本女子中
9. 鈴木 紀榮 高知一女 35.4 廣二中 8.24 日本女子中
10. 田中 靜子 廣一女 35.4 廣二中 9.8 西日本女子

十傑平均 今年度 34.84 昨年度 34.41

11. 大西 睦子 愛知一女 35.6 振甫 9.7 神宮愛知
12. 中島 芳子 愛知淑徳 35.6 廣二中 8.24 日本女子中
13. 矢田富美子 椛山女 35.8 振甫 9.7 神宮愛知
14. 上村登志子 土佐女 36.0 廣二中 8.24 日本女子中
15. 西田 泰子 愛知淑徳 36.0 振甫 9.7 神宮愛知
16. 井上 恭子 廣島縣女 36.0 廣二中 7.31 女子山陽豫
17. 藪崎 あや 藤枝女 36.0 大濱 9.1 神宮静岡
18. 蘆原 清子 名古屋 36.2 京二商 8.27 名京對抗
19. 藤田 時子 中泉女 36.4 廣二中 8.24 日本女子中
20. 奥野 峯子 藤枝女 36.4 濱一中 7.30 濱名豫選

廿傑平均 今年度 35.42 昨年度 35.17

昨年度第一位 井上 三代 名古屋 33.6

第十位 大西 睦子 愛知一女 35.4

第廿位 矢田富美子 椛山女 36.6

100米自由形

1. 藤田 佳子 高知 1:16.0 神宮 9.21 神宮女子中
2. 古田つね子 女體專 1:16.8 神宮 8.29 朝日女子
3. 宅間 美惠 大阪十合 1:16.8 神宮 8.18 選手權
4. 安富磨瑳江 京都 1:17.4 神宮 9.21 神宮女子中
5. 籙野 富美 東府四女 1:17.4 廣二中 8.25 日本女子中
6. 江間 絢子 臺北一女 1:18.0 臺北 5.5 建功神社
7. 進藤 玲子 第六ワカバ 1:18.0 神宮 9.23 神宮一般
8. 吉田ミチ子 吳精華女 1:18.2 廣二中 9.29 廣島縣
9. 高橋 美代 魚津女 1:18.4 神宮 8.17 選手權
10. 菅野 和江 京都 1:18.4 京二商 8.27 名京對抗

十傑平均 今年度 1:17.54 昨年度 1:17.55

11. 三浦 ハナ 横濱水協 1:18.4 神宮 8.29 朝日女子
12. 佐野のぶ子 東府四女 1:19.4 神宮 8.17 選手權

13. 立松 京子 成女高女 1:19.4 神宮 8.17 選手權
14. 吉富 敏子 臺灣 1:19.4 神宮 9.21 神宮女子中
15. 奥野 峯子 静岡 1:19.6 神宮 9.21 神宮女子中
16. 田中 咲子 山口 1:19.9 大濠 8.28 西日本對縣
17. 中島 芳子 愛知淑徳 1:20.0 廣二中 8.24 日本女子中
18. 小澤ハツ子 東府四女 1:20.0 廣二中 8.24 日本女子中
19. 柴田 節子 愛知淑徳 1:20.6 振甫 9.7 神宮愛知
20. 後藤 正子 島根 1:21.2 大濠 8.28 西日本村縣

廿傑平均 今年度 1:18.67 昨年度 1:18.61

昨年度第一位 江間 絢子 臺北一女 1:15.6

第十位 村井 睦子 土佐女 1:18.6

第廿位 岩橋佐和子 椛山女 1:20.4

200米自由形

1. 籙野 富美 東府四女 2:44.8 神宮 8.19 選手權
2. 三浦 ハナ 横濱水協 2:49.2 神宮 8.19 選手權
3. 柴田 節子 愛知淑徳 2:53.8 振甫 9.7 神宮愛知
4. 藤田 佳子 高知 2:53.8 神宮 8.20 神宮女子中
5. 吉田ミチ子 廣島 2:54.0 神宮 9.20 神宮女子中
6. 菅野 和江 高知 2:54.4 神宮 9.21 神宮女子中
7. 吉富 敏子 臺灣 2:55.0 神宮 9.21 神宮女子中
8. 松原 弘子 東府四女 2:56.4 神宮 8.19 選手權
9. 小澤ハツ子 東府四女 2:58.6 神宮 8.2 關東豫選
10. 奥野 峯子 静岡 2:59.6 神宮 9.20 神宮女子中

十傑平均 今年度 2:53.96 昨年度 2:55.82

11. 高橋 美代 魚津女 2:59.8 神宮 8.19 選手權
12. 持永 冷子 長崎 3:01.6 神宮 9.20 神宮女子中
13. 中島 芳子 愛知淑徳 3:03.8 振甫 9.1 中部日本
14. 岩橋佐和子 椛山女 3:05.6 振甫 9.15 名古屋市民
15. 齋藤 光代 福岡 3:05.6 神宮 9.20 神宮女子中
16. 野上 恭香 高雄女 3:06.8 臺北 7.21 臺灣中等
17. 塚原加世子 京都 3:07.2 神宮 9.20 神宮女子中
18. 井上 恭子 廣島 3:07.4 神宮 9.20 神宮女子中
19. 上村 淳子 長崎 3:07.6 神宮 9.20 神宮女子中
20. 柴田 朝子 愛知淑徳 3:07.8 振甫 9.7 神宮愛知

廿傑平均 今年度 2:59.64 昨年度 3:00.39

昨年度第一位 三鬼百合子(土肥女) 2:50.2

第十位 松井 和子(常盤) 3:01.8

第廿位 井上 恭子(廣島縣女) 3:09.0

400米自由形

1. 籙野 富美 東府四女 5:52.0 神宮 8.18 選手權

2.	三浦ハナ	橫濱水協	6:04.6	神宮	8.18	選手權
3.	松原弘子	東府四女	6:07.8	神宮	8.17	選手權
4.	小澤ハツ子	東府四女	6:14.0	神宮	8.11	關東女子中
5.	吉田ミチ子	吳精華女	6:14.4	廣二中	9.29	廣島縣
6.	宅間美惠	大阪十合	6:17.2	神宮	8.17	選手權
7.	上村淳子	長崎	6:21.2	大濠	8.28	西日本對縣
8.	菅野和江	愛知淑德	6:21.8	京二商	8.27	名京對抗
9.	井上恭子	廣島	6:24.5	大濠	8.28	西日本對縣
10.	柴田節子	愛知淑德	6:25.4	振甫	9.1	中部日本
十傑平均 今年度 6:14.31 昨年度 6:17.62						
11.	綿貫秀子	廣島縣女	6:26.8	廣二中	9.8	西日本女子
12.	渡邊貞子	吳精華女	6:27.0	廣二中	9.8	西日本女子
13.	齋藤光代	久留米女	6:27.2	廣二中	8.25	日本女子中
14.	上村登志子	土佐女	6:27.8	廣二中	8.25	日本女子中
15.	吉富敏子	臺北一女	6:32.2	廣二中	8.25	日本女子中
16.	大森トミ子	土肥女	6:35.2	廣二中	9.29	廣島縣
17.	柴田朝子	愛知淑德	6:38.8	振甫	9.1	中部日本
18.	金本貞子	土肥女	6:39.6	廣二中	9.8	西日本女子
19.	松本美惠子	土肥女	6:41.2	廣二中	7.31	女子山陽豫
20.	岩橋佐和子	椋山女	6:41.8	振甫	9.1	中部日本
廿傑平均 今年度 6:24.04 昨年度 6:29.36						
昨年度第一位 三鬼百合子(土肥女) 6:05.2						
第十位 柴田朝子(愛知淑德) 6:33.2						
第廿位 高橋美代(魚津女) 6:44.8						

100米平泳

1.	後藤久子	臺北一女	1:31.2	廣二中	8.24	日本女子中
2.	河野典子	京府一女	1:32.4	神宮	8.17	選手權
3.	野中喜美子	東府四女	1:32.6	神宮	8.18	選手權
4.	三枝美貴子	日本女	1:33.4	神宮	8.17	選手權
5.	天野主子	吳精華女	1:33.6	神宮	8.18	選手權
6.	永田隆子	廣島市女	1:34.0	廣二中	9.8	西日本女子
7.	大川喜美子	京都	1:34.3	京二商	8.27	名京對抗
8.	川内公子	土肥女	1:34.6	廣二中	9.8	西日本女子
9.	小野キヌ子	久留米女	1:35.0	廣二中	8.24	日本女子中
10.	和田町子	臺北一女	1:35.4	廣二中	8.24	日本女子中
十傑平均 今年度 1:33.65 昨年度 1:34.26						
11.	蔭山美佐子	第六ワカバ	1:35.6	神宮	8.2	關東豫選
12.	牟田律子	臺北一女	1:35.8	臺化	9.7	臺灣選手權
13.	伊藤桂子	愛知淑德	1:36.0	振甫	9.7	神宮愛知
14.	吉宗冷子	臺北一女	1:36.1	臺北	9.7	臺灣選手權
15.	星八重	橫濱二女	1:37.2	神宮	8.17	選手權
16.	堀部つや子	愛知淑德	1:37.6	振甫	9.7	神宮愛知
17.	馬田貞	臺北學童	1:37.6	臺北	9.15	臺北學童
18.	加藤順子	廣島市女	1:38.0	廣二中	8.24	日本女子中
19.	八井田澄子	土佐女	1:38.0	廣二中	8.24	日本女子中
20.	高瀬和子	名古屋	1:38.6	京二商	8.27	名京對抗

廿傑平均 今年度 1:35.35 昨年度 1:36.24
 昨年度第一位 野中喜美子(東府四女) 1:32.0
 第十位 和田町子(臺北一女) 1:36.5
 第廿位 木村壽子(長崎女) 1:39.1

200米平泳

1.	後藤久子	臺北一女	3:17.4	臺北	9.8	臺灣選手權
2.	川内公子	土肥女	3:17.4	廣二中	9.29	廣島縣
3.	河野典子	京都	3:18.2	神宮	9.20	神宮女子中
4.	天野主子	吳精華女	3:18.2	神宮	8.19	選手權
5.	野中喜美子	東京	3:19.8	神宮	9.20	神宮女子中
6.	村尾康子	長崎	3:20.7	大濠	8.28	西日本對縣
7.	大川喜美子	京都	3:21.2	神宮	9.20	神宮女子中
8.	永田隆子	廣島市女	3:21.6	廣二中	9.8	西日本女子
9.	小野キヌ子	福岡	3:21.9	大濠	8.28	西日本對縣
10.	三枝美貴子	日本女	3:22.2	神宮	8.19	選手權
十傑平均 今年度 3:19.86 昨年度 3:20.85						
11.	蔭山美佐子	東府六女	3:22.6	神宮	8.11	關東女子中
12.	和田町子	臺北一女	3:23.3	臺北	9.8	臺灣選手權
13.	吉宗冷子	臺北一女	3:33.4	臺北	9.8	臺灣選手權
14.	伊藤桂子	愛知淑德	3:26.4	振甫	9.7	神宮愛知
15.	堀部つや子	愛知淑德	3:27.2	振甫	9.7	神宮愛知
16.	牟田律子	臺北一女	3:27.3	臺北	9.7	臺灣選手權
17.	大島糸子	長崎	3:27.8	大濠	8.28	西日本對縣
18.	八井田澄子	土佐女	3:28.2	廣二中	8.24	日本女子中
19.	星八重	橫濱二女	3:29.4	神宮	8.19	選手權
20.	池尾壽々江	橫濱女	3:30.8	神宮	8.19	選手權
廿傑平均 今年度 3:23.25 昨年度 3:24.76						
昨年度第一位 天野主子(廣島) 3:17.2						
第十位 和田町子(臺灣) 3:24.6						
第廿位 古賀節子(長崎女) 3:29.8						

50米背泳

1.	保手濱政子	土肥女	:39.6	廣二中	9.8	西日本女子
2.	伊藤さとし	女體專	:40.2	神宮	8.17	選手權
3.	金森志都子	吳精華女	:40.4	廣二中	9.8	西日本女子
4.	青島博子	中泉女	:40.6	神宮	8.17	選手權
5.	佐野慶子	東府四女	:40.8	神宮	8.17	選手權
6.	山根歌路	楠泳會	:40.8	神宮	8.18	選手權
7.	岩本茂子	土肥女	:40.8	神宮	8.18	選手權
8.	大澤ふさ	八王子	:40.8	元町	6.30	三都市對抗
9.	飯島富子	古河電工	:40.8	神宮	8.18	選手權
10.	廣瀬義子	西宮女	:40.8	甲子園	7.28	兵庫豫選
十傑平均 今年度 :40.56 昨年度 :40.87						
11.	松村清子	土佐女	:41.4	高知	8.11	高知女子
12.	包行豐子	久留米女	:42.0	廣二中	8.24	日本女子中
13.	西田泰子	愛知淑德	:42.2	廣二中	8.24	日本女子中

14. 井上 欣子 土佐女 :42.4 廣二中 8.24 日本女子中
 15. 野上 恭香 高雄女 :42.4 臺北 9.8 臺灣選手權
 16. 片山佐智子 伊 東 :42.6 大濱 9.1 神宮 静岡
 17. 奥田サト子 廣島縣女 :42.8 廣二中 9.8 西日本女子
 18. 佐々木保子 平塚女 :43.0 神宮 8.17 選 手 權
 19. 高岸美智子 臺中女 :43.1 臺北 9.7 臺灣選手權
 20. 熊岡 光枝 名古屋 :43.7 京二商 8.27 名京對抗
- 十傑平均 今年度 :41.56 昨年度 :41.65
 昨年度第一位 伊藤さとし(女體專) :39.6
 第十位 新美美佐子(椛山女) :41.9
 第廿位 小林 弘子(京 那) :43.6

100米背泳

1. 金森志都子 廣 島 1:27.0 神宮 9.20 神宮女子中
 2. 佐野 慶子 東 京 1:28.8 神宮 9.21 神宮女子中
 3. 飯島 富子 古河電工 1:28.8 神宮 9.23 神宮 一般
 4. 岩本 茂子 廣 島 1:29.1 大濠 8.28 西日本對縣
 5. 伊藤さとし 女子體 1:29.2 神宮 8.19 選 手 權
 6. 青島 博子 中泉女 1:29.2 神宮 8.19 選 手 權
 7. 保手濱政子 土肥女 1:29.8 廣二中 9.8 西日本女子
 8. 松林 清子 高 知 1:30.2 神宮 9.20 神宮女子中
 9. 山根 歌路 楠泳會 1:31.6 神宮 9.23 神宮 一般
 10. 大澤 ふさ 東府四女 1:32.4 神宮 8.19 選 手 權
- 十傑平均 今年度 1:29.61 昨年度 1:30.04
 11. 山内 次子 靜 岡 1:32.4 神宮 9.20 神宮女子中
 12. 包行 豐子 福 岡 1:32.5 大濠 8.28 西日本對縣
 13. 西田 泰子 愛知淑德 1:32.6 振甫 9.15 名古屋市民
 14. 熊岡 光枝 椛山女 1:33.2 振甫 9.7 神宮 愛知
 15. 北村 文子 熊 本 1:33.3 大濠 8.28 西日本對縣
 16. 渡邊 貞子 吳精華女 1:33.6 廣二中 8.24 日本女子中
 17. 井上 欣子 高 知 1:33.8 神宮 9.20 神宮女子中
 18. 有賀 吉 京 都 1:33.9 東二商 8.27 名京對抗
 19. 兼松 淳子 長 崎 1:34.2 神宮 9.20 神宮女子中
 20. 久保 和子 吳精華女 1:35.0 廣二中 7.21 廣 島 豫 選
- 十傑平均 今年度 1:31.53 昨年度 1:32.18
 昨年度第一位 伊藤さとし(女體專) 1:26.8
 第十位 新美美佐子(椛山女) 1:32.0
 第廿位 高岸美智子(臺中女) 1:35.8

200米繼泳

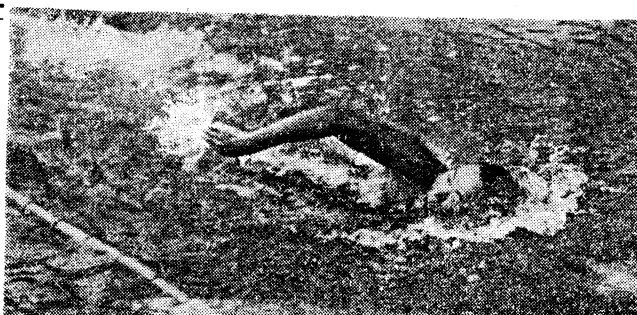
1. 鈴木・森脇 高 知 2:20.4 神宮 9.21 神宮女子中
 2. 上村・藤田 選 拔 2:20.4 神宮 8.29 朝日女子
 3. 古田・籬野 選 拔 2:20.4 神宮 8.29 朝日女子
 4. 三浦・立松 選 拔 2:20.4 神宮 8.29 朝日女子
 5. 中島・矢田 愛 知 2:21.0 神宮 9.21 神宮女子中
 6. 大西・岩橋 愛 知 2:21.0 神宮 9.21 神宮女子中
 7. 佐野(慶)・小澤 京府四女 2:21.4 廣二中 8.25 日本女子中
 8. 小澤・旗野 京府四女 2:21.4 廣二中 8.25 日本女子中
 9. 籬野・松原 東 京 2:21.6 神宮 9.20 神宮女子中
 10. 服部・小澤 東 京 2:21.6 神宮 9.20 神宮女子中
 11. 江間・東 臺 灣 2:22.2 神宮 9.20 神宮女子中
 12. 吉富・佐々木 臺 灣 2:22.2 神宮 9.20 神宮女子中
 13. 佐野・小澤 東 京 2:22.4 神宮 9.21 神宮女子中
 14. 籬野・田沼 東 京 2:22.4 神宮 9.21 神宮女子中
 15. 安富・淺井 京 都 2:22.4 神宮 9.20 神宮女子中
 16. 菅野・山田 京 都 2:22.4 神宮 9.20 神宮女子中
 17. 岩橋・矢田 愛 知 2:22.4 神宮 9.20 神宮女子中
 18. 大西・西田 愛 知 2:22.4 神宮 9.20 神宮女子中
 19. 上村・新井 土佐女 2:23.2 廣二中 8.24 日本女子中
 20. 井上・藤田 土佐女 2:23.2 廣二中 8.24 日本女子中
- 十傑平均 今年度 2:21.74 昨年度 2:22.72

11. 吉富・東 臺 灣 2:24.2 神宮 9.21 神宮女子中
 12. 野上・江間 臺 灣 2:24.2 神宮 9.21 神宮女子中
 13. 田沼・小澤 東府四女 2:24.4 神宮 8.11 關東女子中
 14. 籬野・佐野 東府四女 2:24.4 神宮 8.11 關東女子中
 15. 柴田・小金澤 愛知淑德 2:25.6 清洲 9.8 加盟團體對抗
 16. 廣田・中島 愛知淑德 2:25.6 清洲 9.8 加盟團體對抗
 17. 田中・吉田 廣 島 2:25.8 神宮 9.21 神宮女子中
 18. 綿貫・井上 廣 島 2:25.8 神宮 9.21 神宮女子中
 19. 中島・西田 愛知淑德 2:26.4 廣二中 8.24 日本女子中
 20. 小金澤・柴田 愛知淑德 2:26.4 廣二中 8.24 日本女子中
 16. 吉富・笹原 臺北一女 2:27.0 廣二中 8.24 日本女子中
 17. 平井・江間 臺北一女 2:27.0 廣二中 8.24 日本女子中
 17. 渡邊・天野 吳精華女 2:28.0 廣二中 7.31 女子山陽豫
 18. 金森・吉田 吳精華女 2:28.0 廣二中 7.31 女子山陽豫
 18. 辻・市野瀬 京 都 2:28.6 眞田山 6.16 關西東亞
 19. 菅野・安富 京 都 2:28.6 眞田山 6.16 關西東亞
 19. 中島・横井 愛知淑德 2:28.8 廣二中 8.25 日本女子中
 20. 小金澤・柴田 愛知淑德 2:28.8 廣二中 8.25 日本女子中
 20. 吉元・村尾 長 崎 2:28.8 神宮 9.20 神宮女子中
 - 持永・大島 長 崎 2:28.8 神宮 9.20 神宮女子中
- 十傑平均 今年度 2:24.25 昨年度 2:24.67
 昨年度第一位 愛 知 2:17.4
 第十位 愛 知 淑 德 2:25.0
 第廿位 京 都 2:27.6

300米混繼泳

1. 金森・天野 廣 島 4:19.8 神宮 9.21 神宮女子中
 2. 吉田 廣 島 4:19.8 神宮 9.21 神宮女子中
 3. 佐野(慶)・野中・籬野 東府四女 4:21.2 廣二中 8.25 日本女子中
 4. 有賀・菅野 京 都 4:21.8 神宮 9.21 神宮女子中
 5. 安富 京 都 4:21.8 神宮 9.21 神宮女子中
 6. 松村・八井田 高 知 4:24.2 神宮 9.21 神宮女子中
 7. 藤田 高 知 4:24.2 神宮 9.21 神宮女子中
 8. 有賀・大川 京 都 4:24.8 神宮 9.21 神宮女子中
 9. 安富 京 都 4:24.8 神宮 9.21 神宮女子中
 6. 佐野(慶)・三枝・籬野 東 京 4:26.0 神宮 9.21 神宮女子中
 7. 金森・天野 廣 島 4:26.8 神宮 9.21 神宮女子中
 8. 田中 廣 島 4:26.8 神宮 9.21 神宮女子中
 8. 有賀・大川 京 都 4:27.0 京二商 8.27 名京對抗
 9. 菅野 京 都 4:27.0 京二商 8.27 名京對抗
 9. 高岸・後藤 臺 灣 4:27.8 神宮 9.21 神宮女子中
 10. 江間 臺 灣 4:27.8 神宮 9.21 神宮女子中
 10. 佐野(慶)・野中・佐野のぶ 八王子 4:29.2 元町 6.30 三都市對抗
 - 十傑平均 今年度 4:24.86 昨年度 4:25.24
 11. 岩本・川内 土肥女 4:29.6 廣二中 9.8 西日本女子中
 12. 大森 土肥女 4:29.6 廣二中 9.8 西日本女子中
 12. 熊岡・伊藤 愛 知 4:29.6 神宮 9.21 神宮女子中
 13. 柴田 愛 知 4:29.6 神宮 9.21 神宮女子中
 13. 渡邊・天野 吳精華女 4:29.8 廣二中 8.24 日本女子中
 14. 吉田 吳精華女 4:29.8 廣二中 8.24 日本女子中
 14. 吉成・後藤 臺北一女 4:30.3 臺北 9.8 臺灣選手權
 15. 江間 臺北一女 4:30.3 臺北 9.8 臺灣選手權
 15. 西田・伊藤 愛知淑德 4:32.0 振甫 9.15 名古屋市民
 16. 柴田 愛知淑德 4:32.0 振甫 9.15 名古屋市民
 16. 保手濱・川内 土肥女 4:32.0 廣二中 9.29 廣 島 縣
 17. 金本 土肥女 4:32.0 廣二中 9.29 廣 島 縣
 17. 岩本・川内 土肥女 4:32.2 廣二中 8.24 日本女子中
 18. 包行・小野 福 岡 4:33.2 神宮 9.21 神宮女子中
 19. 齋藤・天野 福 岡 4:33.2 神宮 9.21 神宮女子中
 19. 金森・天野 吳精華女 4:33.8 廣二中 6.30 廣市對精華
 20. 渡邊 吳精華女 4:33.8 廣二中 6.30 廣市對精華
 20. 西田・伊藤 愛知淑德 4:34.0 廣二中 8.24 日本女子中
 - 中島 愛知淑德 4:34.0 廣二中 8.24 日本女子中
- 十傑平均 今年度 4:28.26 昨年度 4:27.89
 昨年度第一位 先 輩 軍 4:20.0
 第十位 東 北 一 京 4:27.8
 第廿位 臺 北 一 女 4:34.0

日本水泳 の周期と



の實力昇降 平均的力

十傑表を見て

白山源三郎

日本水泳十傑並に二十傑を發表する事早十年近くになる其間發表された多數の數字を統合分析すれば色々尙ほに富む結果を生み出すことが出来る筈と思はれる。少し許り之を試みて見る。從來、オリンピック第一主義を以て進んで來た我國競泳陣は、オリンピックの年に於て其力が最高に達し、翌年は其反動で極端に低調となり翌々年は稍々盛り返し、第三

年目はオリンピックを翌年に控へ俄かに調子を出して最高調に昇ると云つた一定のカーブを描いて周期的に動いて居るらしいと云ふことは漠然乍ら一般に考へられて居た所である。そこでこゝに最近の十傑平均記録を集成してカーブをとつて見ると、大體に於て此考へ方の誤でなかつた事が判る、即ち次の表によつて見れば判る様に第十一回オリンピックの昭

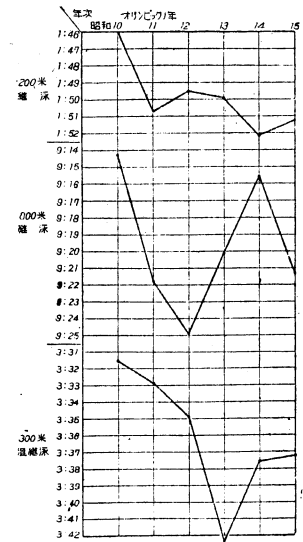
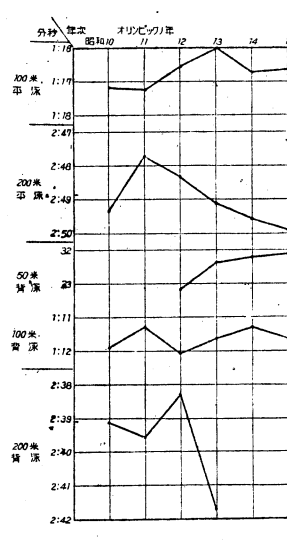
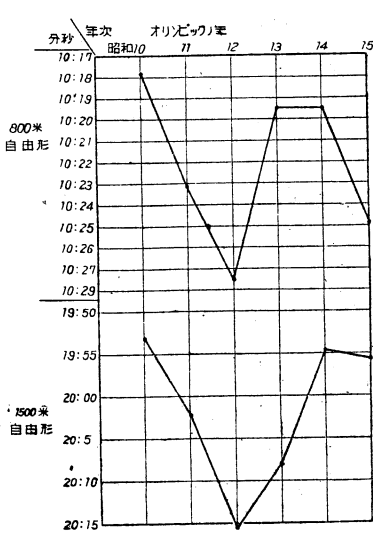
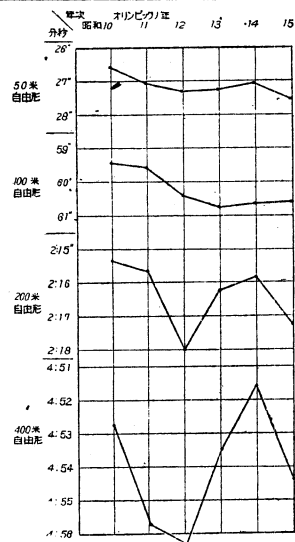
最近五年間十傑平均表

年次	50m自由	100m自由	200m自由	400m自由	800m自由	1500m自由
昭和 10	26.56	59.44	2:15.32	4:52.72	10:17.86	19:53.66
" 11	27.06	59.55	2:15.68	4:55.73	10:23.22	20:02.35
" 12	27.38	60.42	2:18.04	4:56.34	10:27.66	20:16.59
" 13	27.32	60.72	2:16.26	4:53.50	10:19.52	20:07.90
" 14	27.12	60.69	2:15.84	4:51.60	10:19.50	19:54.62
" 15	27.54	60.64	2:17.30	4:54.44	10:24.98	19:55.92

年次	100m平泳	200m平泳	50m背泳	100m背泳	200m背泳	200m繼泳	800m繼泳	300m混繼
昭和 10	1:17.20	2:49.32	—	1:11.96	2:39.14	1:46.01	9:14.10	3:31.56
" 11	1:17.26	2:47.73	—	1:11.27	2:39.55	1:50.70	9:21.80	3:32.89
" 12	1:16.51	2:48.36	33.18	1:12.04	2:38.33	1:49.54	9:24.94	3:34.88
" 13	1:16.00	2:49.09	32.34	1:11.58	2:41.74	1:49.96	9:20.16	3:42.62
" 14	1:16.76	2:49.52	32.18	1:11.30	—	1:52.12	9:15.57	3:37.55
" 15	1:17.64	2:49.90	32.06	1:11.62	—	1:51.12	9:21.26	3:37.08

和十一年より、其翌年十二年に向つては大多數の種目に於て下落を示して居り。其翌年十三年に向つては反對の大多數が上昇を示し、オリンピック前年に相當する十四年に向つては、亦三つの例外の外上昇を示して居る正に吾々の漠然たる豫想の通りである。一般に吾々の有してゐた想像は以前の第十回羅府オリムピアードの即一九三二年から一九三六年間に於ても次の伯林オリムピアードの四年に於ても同様であつて此處に示す數字的研究は伯林オリムピアードに於けるものであるが、羅府オリムピアードの統計をとることが出来るならば恐らく同じ事を示すであらうと思ふ即ち、之を一種の周期と云へる。

亦表中一般的傾向の例外をなして居るものが年により、三種目乃至五種あることを述べたが、些細に研討して見て之等は凡て特殊種目か、試合數の少ない種目であつて、其種目限りの特殊事情により、特に記録がよかつたか、或は試合數不足の爲に好記録を集め得なかつた爲特に悪くなつて居るかの孰れかで全體の傾向を特に阻止するが如き性質のものでない。オリンピックの年の平均記録は昭和十一年も、昭和十五年も其前年より大體に於て下落して居る。昭和十五年の方は申す迄もなくオリムピックのなかつた爲であるが、十一年度のは他の事情によるものでなければならぬ、恐らくは第一流選手が此年中、



遠征の爲本國で試合に出ず、留守軍による本國試合には好記録がなく、遠征軍と雖も、試合數少なく、且、記録よりも勝負第一のオリンピックが戦ふ爲等好記録の貧困の爲の結果であつて、實力と云ふ點から云へば前年と相異ある筈がないと思はれるそれに反してオリンピック前年は、大試合が孰れもオリムピック派遣選手詮衡の資料となるし、豫選も行はれる譯であつて好記録續出する結果平均がかく昇るものと云ふことが出来る。

然らば昭和十五年度に於て等しく下落して居ると云ふことは意味に相違ある、國內大會に於て下落防止のあらゆる方途が講ぜられたに不拘下落して居ると云ふ事で一般に云はれる様に残念なことである。

次に此カーブに於て今一つ注意を要することは、伯林オリンピックに於て一旦下落して再び上つた平均が孰れも最高に於て、昭和十年即ち羅府オリンピック前年の平均に及ばないと云ふことである。此表の示す所だけを以てすれば日本水泳は昭和十年を絶頂として其後進歩なしと云へそうである。此點については、昭和十五年にはオリンピックがあつたならば前年昭和十四年に於て全面的に昭和十一年の平均を凌駕したであらうと云ふ想像を以て一應答へ得

る。恐らくそうであらう。

然し一面こう云ふことも考へねばならぬ一九二八年アムステルダムの時邊りから躍進を續けて居た。水泳日本も、人間の體力に限度がある限り、永久に同じ歩調で續き得るものでない。現に平均的記録に於て一種の周期を現しつゝある。從而いつまでも前年に比較して進歩しなければならぬと云ふ豫想の下に前年と比較して批評することは適當でない。平均的な日本水泳の力を數字的に求めて之とある特定の年の平均記録とを比較すると云ふ方法をとるのが適當ではないか。

そこで過去五年の十傑平均記録の平均をとつて見ることにした、そして昭和十五年度十傑の平均と比較して見ると次の通りである。

尤も過去五年の内にはオリンピック前年が二度這入つて居るから平均を稍高める事になるであらう。米の收穫豊凶の比較の様に七年間の最高、最低を除いて作ればよいかも知れないが資料が得られない關係で今回は單に過去五年として置く。

本表上段の記録が各種目に於ける最近水泳日本第一線の平均的實力である。猶本表によつて見ると十五年度は八百米繼泳を除いて全面的に平均より低調

過去五年間傑平均記録平均と昭和十五年度平均との平均

	50m自由	100m自由	200m自由	400m自由	800m自由	1500m自由	100m平泳
平均	27.088	60.154	2:16.228	4:53.978	10:21.552	19:27.024	1:16.746
十五年度	27.54	60.64	2:17.30	4:54.44	10:24.98	19:55.92	1:17.64
	200m平泳	50m背泳(但三年)	100m背泳	200m繼泳	800m繼泳	300m混繼泳	
平均	2:48.804	32.566	1:11.63	1:49.664	9:31.4	3:35.900	
十五年度	2:49.90	32.06	1:11.62	1:51.12	9:21.26	3:57.08	

であつた事が判る。即ち最近の平均的なる日本水泳の實力に比して低調であつたと云ふことになる。オリンピックがなかつたので狀況が全然違つてゐる爲

明年の豫想はつかないが本來なら從來の周期の關係で最低調の年である。之以上まだ下つてはならないと下らざらん事を希望して筆を擱く。(一四)



昭和十五年度全國小學校兒童水泳競技會

最 優 校

尋 男	雄 踏 尋 常 高 等 小 學 校	濱 名
尋 女	橋 本 尋 常 高 等 小 學 校	和 歌 山
高 男	宇 佐 美 尋 常 高 等 小 學 校	靜 浦
高 女	妙 寺 尋 常 高 等 小 學 校	和 歌 山

小 學 兒 童 水 泳 獎 勵 實 施 要 項

1. 小學校兒童競技會ハ各地方團體ノ公認スルモノナルコト。
2. 該競技會水泳場ハ原則トシテ公認ナル事ヲ要スルモ公認プール無キ土地ニ於テハ卷尺ノ測定ニテ所要長サ以上ナルモノヲ使用スル事。
3. 計時ハ一人ニ付キ時計三個ヲ必要トシ聯盟規定ニヨル。
4. 時計ノ檢定法ハ少クトモラヂオ時報（正午ト午後九時半）ニテ合ハセル事。
5. 水泳着着用ノ事。
6. 尋常、高等別及男女別ノ四種類ニテ過年度兒童ハ認メズ。
7. 競技種目左ノ如シ。

尋常科	自由形	男	50	100	200
同	同	女	50	100	
同	背 泳	男	50	100	
同	同	女	50	100	
同	平 泳	男	100	200	
同	同	女	100	200	
同	リレー	男		200	
同	同	女		200	
高等科	自由形	男	100	200	400
同	同	女	50	100	200
同	背 泳	男	50	100	100
同	同	女	50	100	
同	平 泳	男	100	200	
同	同	女	100	200	
同	リレー	男	400		
同	同	女	200		

8. 各種目ノ最優十名ニ賞狀ヲ送り、最優十名表中ニ最大人數ヲ出セル學校ヲ最優賞校トシ、但シリレーハ一個人同様ト看做ス。同人數ノ場合ハ一等十點、二等九點、三等八點、四等七點、五等六點、六等五點、七等四點、八等三點、九等二點、十等一點トシテ計算ス、但シ同一人ニテ二種目以上ノ得點ノ場合ニ於テハ最優秀點一ツノミヲ計算シ得點多寡ニ依リ最優校ヲ定ム。
9. 競技記録提出期間ハ四月以降ノ記録ヲ其年ノ九月末日迄。
10. 毎年十月中ニ最優校及最優勝ヲ決定シ發表ス。
11. 大會記録ハ各加盟團體ヲ通ジ聯盟本部ニ提出ノコト。

一 年 間 を 顧 み て

ベルリン大會後更に四年間の精進は世界第一の貫録にみじんのゆるぎもみせず、此の充ち溢れた實力が向けられた對外征服はオリンピック中止で第一の不幸に際會し、次に向けられた驕兒米國は不明朗な口實の下に矢面に立たず僅かに跛行的南米遠征を除けば重り合つた不幸に第一線は失意の背進をし始めた、此の時に迎へたのが水のシーズン劈頭の早慶戦であり三大學戦であつた。結果は案外の不振で振出の無慘さは八月九月の收穫期が思ひやられ選手諸君の心裡に同情する前に過ぎた批判を叩きつけた、然し有難い事には六七月の反省期間に古豪の再起あり新進又躍進の氣に乗り殊に新鋭の中等陣の擡頭は潑刺たる息吹きさへ感ぜられ、かくして八月は迎へられた。日本選手權大會は低調恢復の態勢を整へ期待はそのまま九月のインタカレツチへ接續された、建在なりや否や？ピンと張りつめた神経は水上日本第一線の安否に集中して好かれと祈り、好かれと信ずる胸に一抹の不安の波紋が擴がつて靜まらない。然し自覺の最大據點たる母校愛を中心とした學生選手と云ふ自重がゆるぎない水上日本の最高峰を堂々と世界に答へてくれた。

かくて未弘先生の云はれた高きが故に増々廣い水上日本は高きが故に増々普及し盡された大基底の上に立たねばならぬ。それに呼應する如く迎へられた奉祝紀元二千六百年の神宮大會は、明治大帝の御遺徳と昭和聖代の御稜威によりますます廣いすべての競技層により充實した力と組織の展開であり、又神宮プール未曾有の大觀衆は數千の選手諸君の奉納試合を嚴肅に見守つてくれた。

一方女子競泳も久しぶりの日本記録の更新あり此處にも時代の移りが認められ飛込陣又揃つて質的の充實振りをみせて量の少さをカバーし水球軍又學生諸君の眞摯な努力によつて向上の一路を辿つた。

熱海初島間の團體長距離遠泳は神宮の海洋競技に合流して横須賀横濱間に變更され、又して本年も帝國海軍の制覇する所となつた。今年度最も意義ある出來事は小學校聯盟の結成である。この事は水上聯盟の組織が更に深く廣く掘り下げられたと稱している。かくして無限の展望の上に立つ時我々は責任の重さとやり甲斐の無量さに唯讚歎するばかりであるこの仕事は小學校聯盟の方々の努力にまつとしても我々としてもあらゆる手傳を覺悟してゐる。かくして次に取掛るべきものは水泳が武道の中に加へられ

て正課とされる事であり、更に又國民體力檢定の資格要項に採用される事への努力であらう。

かく考へる時水上聯盟の仕事は東京だけの問題ではない否廣く全日本各地の加盟團體の積極的に受持つべき義務であり又權利でもあらう。かくて國民皆泳の線に沿ふて彌増しの努力が全日本的に必要とされその點各地加盟團體との密接な聯絡は愈々必要となつて來る事は云ふ迄もない。

かくる裡にも思ひ出されるのは石本巳四雄先生と堀江耕造先生の御他界である。兩先生の御功績については改めて述べる必要もないが、石本先生は故梅澤親光氏と飯田光太郎氏と共に水上日本の組織的發展に科學的な努力を傾倒され殊に人間味豊かな包容力は聯盟に人材を集めさせた魅力でもあつた。堀江先生は水泳王國静岡縣濱松に於ける功勞者の第一であり、あの眼鏡の奥底の暖い眼射しに再び接しえないと思へば残念でならない。未弘先生が體育功勞者として表彰なされた日、先生はそのまま梅澤、飯田、石本の三先生の墓前に感謝の御詣りをされたさうである、未弘先生の人間味の深く徹底してゐられる點は別の事として石本先生達が如何に水上日本の發展に絶對的の御努力を傾倒されたかは此の事の裡に充分看取される事と思ふ。我々は振り返つては御恩の深きを想ひ前をみては責任の重さに張り切らざるをえない。又そうする事が兩先生の御恩に報ゐる大きい道と信ずる。我が編集部も藤原さんの凱旋、宍道さんの歸京等あつて頓に潑刺さを増し加ふるに松浦委員長は多忙の裡にあり乍ら持前の編輯技術を以て内容の充實を計り、小山委員又珠玉の原稿を得意の海外情報の報道に當られ、更に新進畫伯・福島順之助氏の贊助をえて往年の杉田忠治氏時代の零圍氣を盛らんとしてゐる。

しみじみ思ふ聯盟の會合程心愜しいものはない、こんな氣の合つた社會は何處にもあるまい、我々一同はかく極論に氣持のいい聯盟の仕事に精魂を傾ける事を決心してゐるが、意餘つて力足らずの缺點は愛讀者皆さんの暖き御忠告御援助に俟つ外はない。

最後に晴の神宮大會で體育功勞者として表彰された未弘先生の御功績を讃へやう、先生の御骨折が是で終止符が押されるものでないと同じく我々の努力も今後愈々先生を中心として傾倒されねばならないと痛感してゐる次第である。

(横尾清吾)

聯 盟 日 誌

10月14日	氷球競技委員會	事	務	所
15日	記録委員會		〃	
16日	記録委員會		〃	
22日	小學校委員會		〃	
23日	常務理事會		〃	
25日	小學校委員會		〃	
29日	學童記録委員會		〃	
31日	競泳池公認委員會		〃	
11月6日	常務理事會		〃	
13日	常務理事會		〃	
18日	飛込競技委員會，學生慰勞會	横		濱
	比島體協より立教大學選手5名 監督1名招聘電報來る			
21日	學聯飛込委員會	事	務	所
22日	末弘會長招待會	末	弘	會 長 邸
	厚生省より神宮大會費用受入			
28日	女子部委員會	事	務	所
30日	學聯飛込競技委員會		〃	
12月3日	編輯委員會		〃	
	小學校委員會		〃	
4日	常務理事會		〃	
6日	島崎，根上，清川三氏歡迎會	幸		樂
9日	本年度日本新記録發表，引續き競泳，飛込，水球，中等競泳， 學童競泳十傑を發表，大澤政代饗送別會	東	洋	軒
	小學校記録會	事	務	所
11日	小學校委員會		〃	
12日	水球競技委員會		〃	
18日	ラヂオ學童結果發表		〃	
20日	立教大學比島遠征選手東京驛出發			
	小學校懇談會	マ	ル	万
21日	飛込競技委員會	明		藥
29日	事務所閉			

聯 盟 議 事 錄

- 8月17日 常務理事會，日本選手權の事務的打合せ，小學校の部門を普及委員會より獨立せしめ其主任を常務理事に推薦する事（内藤徹氏に決定）
 - 二， 名譽主事……（後日に待つ）副會長（同）名譽會計（小山賢之助氏）
 - 三， 海洋競技の報告野田氏より，神宮學童遠泳報告，佐々木救氏より有り
- 11月6日 常務理事會，昭和十六年度日本選手權に獨逸選手三四人招聘したき由を（バルケ他）チヤンマーオステン宛に
 - 二， 神宮大會，中等學校を主體として行ひ實業團（厚生運動）地域的に選抜する事，日本泳法（嚴選する事）同一のものをさける事，粗末と思はれるものは止める事
 - 三， 二荒伯が游泳聯盟を解消……（末弘會長）觀海流は同様氣運に（栢原政勝）
- 12月4日 常務理事會，日本新記録，及各十傑，廿傑等を承認，地方大會を文部省公認に關する件（保留）來年度早々協議する事に決し（岩手水協會より問合せ有り）
 - 二， 立教大學水泳選手比島遠征，文部省より認可さる
 - 三， プール公認 111 號長岡プール（50米）

日本水上競技聯盟
機關雜誌

水 泳

第 7 6 號

昭和十六年一月十六日 納 本
昭和十六年一月二十日 發 行

（日本水上競技聯盟代表）

編輯兼印刷人 宋 道 洋 一

印刷所 大日本印刷株式會社
牛込區市谷加賀町一の十二

定價 30 錢 年 8 回發行豫定・8 回分 ¥ 2.40

豫約申込に限り頒布す（1年前金豫約は送料不要）

廣告料 10 圓乃至 35 圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル 581
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替口座東京三九九一九番